

- 問1 1958年に約47.8万人であった札幌市の人口が、2018年には約195.2万人へと急増した背景にある、北海道特有の社会経済的な状況として最も適切なものはどれですか。 (2021年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 札幌市に大規模な工業地帯が形成され、重化学工業に従事する労働者が全国から一斉に集まったため。 | 2. 道内の交通網が未発達であったため、物流の拠点として札幌市にのみ人口が残留せざるを得なかったため。 | 3. 道内の基幹産業であった石炭産業などの衰退により、地方から都市機能が集積する札幌市への人口移動が加速したため。 | 4. 北海道全域で稲作が拡大し、農業に従事する現役世代が札幌市周辺の広大な農地へ移住したため。 |
|---|---|---|---|
- 問2 北海道の東部に位置する太平洋沿岸の地域では、夏に「濃霧（海霧）」が発生し、日照不足などの影響を与えています。この現象が発生するメカニズムの説明として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 北西からの湿った季節風が、寒流であるリマン海流の上を通る際に冷やされるため。 | 2. 南東からの湿った季節風が、寒流である親潮（千島海流）の上を通る際に冷やされるため。 | 3. 南東からの湿った季節風が、暖流である対馬海流の上を通る際に温められるため。 | 4. 北西からの乾燥した季節風が、暖流である黒潮（日本海流）の上を通る際に温められるため。 |
|---|--|--|---|
- 問3 農業従事者数と耕地面積の関係を示した資料において、他地域が「労働力が多く、耕地面積が狭い」傾向にあるのに対し、北海道は「労働力が少なく、耕地面積が極めて広い」という独自の特徴が見られます。このような北海道の農業の特色を端的に説明したものとして、正しいものはどれですか。 (2024年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------|----------------------|--------------------|-------------------|
| 1. バイオテクノロジーを駆使した都市近郊農業 | 2. 伝統的な手作業を中心とした多角経営 | 3. 大型の機械を活用した大規模経営 | 4. 労働力集約型による小規模経営 |
|-------------------------|----------------------|--------------------|-------------------|
- 問4 北海道東部の太平洋側において、夏に発生する濃霧がもたらす低温や日照不足といった気候条件に適応するために、この地域で古くから発展してきた農業の特徴はどれですか。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|--|
| 1. 温暖な気候が必要な米の品種改良を進め、広大な平野で二毛作を行う。 | 2. 冷涼な気候でも育つ牧草を利用し、乳牛を育てる大規模な酪農を行う。 | 3. 山地を切り開いて段々畑を作り、水はけを良くして果樹栽培を行う。 | 4. 夏の涼しさを利用して、東京などの大消費地向けにレタスなどの高原野菜を栽培する。 |
|-------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|--|
- 問5 北海道東部に突き出した半島に位置し、海と陸のつながりによる独特の生態系が評価され、2005年にユネスコの世界遺産（自然遺産）に登録された場所はどこですか。 (2021年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|----------|---------|--------|
| 1. 知床 | 2. 小笠原諸島 | 3. 白神山地 | 4. 屋久島 |
|-------|----------|---------|--------|
- 問6 北海道、茨城県、新潟県、青森県などの農業統計において、農家一戸あたりの平均耕地面積を比較すると、北海道は約30ヘクタールと、他の都府県の数ヘクタール程度に比べて圧倒的に大きな数値を示しています。このような統計上の特徴を持つ北海道の農業の特色として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------|-------------------------|--------------------------------|----------------------------|
| 1. 大型機械を活用した大規模な農業が行われている | 2. 都市近郊での集約的な施設園芸が中心である | 3. 農家一戸あたりの面積が小さく、多くの労働力を必要とする | 4. 米の二毛作が盛んで、土地の利用効率が極めて高い |
|---------------------------|-------------------------|--------------------------------|----------------------------|
- 問7 北海道の石狩平野などは、かつて農耕に不向きな土地でしたが、現在では日本有数の稲作地帯となっています。このような発展を可能にした土地改良の背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 急傾斜地を階段状に削り、地滑りを防ぎながら標高の高い場所でも耕作を可能にした。 | 2. 海岸沿いの浅瀬に堤防を築いて海水を抜き、塩害に強い新たな耕地を造成した。 | 3. 火山灰が厚く堆積して水持ちが悪い台地を改良するため、大規模な用水路が建設された。 | 4. 植物の遺体が堆積した排水の悪い湿地を改良するため、排水路の整備や客土が行われた。 |
|--|---|---|---|
- 問8 北海道には「稚内（わっかない）」や「室蘭（むろらん）」など、特徴的な響きを持つ地名が多く存在します。これらの地名は、北海道やその周辺諸島に古くから住み、独自の言語や文化を築いてきた先住民の言葉に由来しています。この人々の名称として正しいものを選びなさい。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|-------|--------|
| 1. えみし | 2. アイヌ | 3. 防人 | 4. 屯田兵 |
|--------|--------|-------|--------|
- 問9 北海道のほぼ中央に位置する内陸部の気候について述べた文として、最も適切なものはどれですか。この地域では、海岸部と比較して夏と冬の気温差が大きく、冬の気温が氷点下になるという特徴が見られます。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|-----------|------------|
| 1. 海洋性気候 | 2. 内陸性気候 | 3. 瀬戸内の気候 | 4. 南西諸島の気候 |
|----------|----------|-----------|------------|
- 問10 北海道の各地域における就業者の状況について述べた文として、統計的な背景から判断して最も適切なものはどれですか。なお、北海道では道東や道南の広い範囲において、特定の産業分類の数値が高い傾向にあります。 (2026年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 大規模な工業団地の整備が進んだ結果、道内全域で製造業に従事する第二次産業の割合が第三次産業を上回っている。 | 2. 農業産出額が全国トップであるため、多くの市町村で第一次産業の就業者数が全体の過半数を占めている。 | 3. 自然景観を活かした観光業や地域のサービス業が発達しているため、多くの市町村で第三次産業の就業者が高い割合を占めている。 | 4. 札幌市などの大都市圏のみに商業が集中しているため、地方部では第二次産業の就業者が最も多い。 |
|--|---|--|--|
- 問11 日本を七つの地方に区分した統計において、北海道地方の耕地面積は約115万ヘクタールと他の地方を大きく上回っており、農家一戸あたりの耕地面積が非常に広いという特徴があります。このような土地条件を背景に発展した、北海道の農業の形態として最も適切なものはどれですか。 (2019年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------|--------------------|----------------------|---------------------------|
| 1. 平地が少ないため斜面を利用して行われる段々畑での農業 | 2. 大型機械を活用した大規模な経営 | 3. 大都市の近郊で行われる施設園芸農業 | 4. 狭い土地に多くの労働力を投入する集約的な農業 |
|-------------------------------|--------------------|----------------------|---------------------------|
- 問12 北海道で大型機械を用いた大規模な畑作や畜産業が発達した背景・理由として最も適切なものを、次のうちから1つ選びなさい。 (2026年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 明治時代以降の開拓により、農家1戸あたりの経営面積が広く、広大な土地を活用しやすかったから。 | 2. リアス海岸の波静かな湾を活用して、浅海での養殖業と農業を兼業する農家が増えたから。 | 3. 一年中温暖で雨が多い気候を生かして、年に2回作物を取り収める栽培方法が定着したから。 | 4. 大消費地である首都圏に隣接しており、野菜などを新鮮なうちにトラックで速達できたから。 |
|---|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 道内の基幹産業であった石炭産業などの衰退により、地方から都市機能が集積する札幌市への人口移動が加速したため。	かつての北海道を支えた炭鉱などのエネルギー産業が衰退したことで、それらの地域から人口が流出し、代わって第3次産業（サービス業や小売業）が成長した札幌市に人口が吸収されました。このように、特定の都市に人口や経済機能が突出して集まる現象は、地方における一極集中の典型的な事例として挙げられます。札幌市の人口規模は1950年代の数倍に達しており、北海道の総人口の約3割から4割近くを占めるに至っています。
問2	答え 2 南東からの湿った季節風が、寒流である親潮（千島海流）の上を通る際に冷やされるため。	日本の夏は、小笠原気団から湿った南東の季節風が吹き込みます。この風が、北海道の東の海域を流れる寒流（冷たい海流）である親潮（千島海流）の上を通る際、海面に冷やされて空気中の水蒸気が水滴に変わることによって濃霧が発生します。この霧は日照時間を減少させ、気温の上昇を妨げる要因となります。
問3	答え 3 大型の機械を活用した大規模経営	北海道は平坦で広大な土地に恵まれているため、他地域のような小規模な農地を細かく管理するスタイルではなく、広大な農地を少人数で管理する「大規模経営」が行われています。この形態を維持するために、大型の機械が不可欠な道具となっており、これが北海道の景観や農業の強みとなっています。
問4	答え 2 冷涼な気候でも育つ牧草を利用し、乳牛を育てる大規模な酪農を行う。	道東の太平洋側では、夏の濃霧による日照不足や低温（冷害）の影響で稲作が困難でした。そのため、冷涼な気候でも育つ牧草を栽培し、それを飼料として牛を育てる酪農が発展しました。特に根釧台地などは、日本を代表する酪農地帯として知られています。
問5	答え 1 知床	北海道東部にある知床半島は、冬に流れ着く流氷がもたらすプランクトンを起点として、魚類、鳥類、そしてヒグマなどの大型哺乳類までが密接に関わる豊かな生態系を持っています。この貴重な自然環境が認められ、日本では3番目の世界自然遺産として登録されました。
問6	答え 1 大型機械を活用した大規模な農業が行われている	北海道の農業統計における最大の特徴は、農家一戸あたりの耕地面積が他の都府県に比べて非常に大きいことです。これは明治時代以降の大規模な開拓の歴史が背景にあり、一区画が大きく設定されたためです。その広大な土地を効率よく管理するために、トラクターなどの大型機械を用いた大規模な農業が主流となっています。
問7	答え 4 植物の遺体が堆積した排水の悪い湿地を改良するため、排水路の整備や客土が行われた。	石狩平野などに広がっていた泥炭地は、非常に排水が悪く、そのままでは稲作に適しませんでした。そこで、大規模な排水路を建設して湿地の水を除き、さらに他の場所から良質な土を運び入れる「客土（かくど）」を行うことで、肥沃な農地に生まれ変わらせました。選択肢にある「火山灰の台地」はシラス台地、「海水を抜く」は干拓に関する説明です。
問8	答え 2 アイヌ	北海道の地名の多くは、先住民であるアイヌの人々が使用していた「アイヌ語」に由来しています。例えば「稚内」はアイヌ語で「冷たい水の出る川」を意味する言葉が語源となっており、自然の地形や特徴を反映した地名が各地に残されています。屯田兵は明治時代に北海道の開拓と北方の警備を兼ねて全国から送り込まれた兵士を指すため、先住民とは異なります。
問9	答え 2 内陸性気候	北海道の中央部は海から離れているため、比熱の小さい陸地の影響を強く受けます。水に比べて陸地は温まりやすく冷めやすいため、夏は気温が上がりやすく、冬は極めて寒冷になる内陸特有の気候が形成されます。冬には氷点下まで気温が下がり、積雪も見られるのが大きな特徴です。
問10	答え 3 自然景観を活かした観光業や地域のサービス業が発達しているため、多くの市町村で第3次産業の就業者が高い割合を占めている。	現代の日本の産業構造では全国的に第三次産業の割合が高いですが、北海道においてもその傾向は顕著です。広大な土地を利用した農業が盛んな道東地域や、歴史的景観や温泉資源を持つ道南地域などでは、観光客向けのサービス業や小売業が地域経済を支える重要な基盤となっています。そのため、都市部以外の市町村であっても、統計上は第三次産業の就業者割合が高い水準で維持されています。
問11	答え 2 大型機械を活用した大規模な経営	北海道は明治時代以降の開拓の歴史もあり、他都府県に比べて一戸あたりの耕地面積が格段に広く確保されています。この広大な農地を少人数で効率よく管理するために、大型のトラクターやコンバインなどを導入した機械化が進み、大規模な農業経営が行われるようになりました。これは、土地が狭く労働力を多く投入する「集約的」な農業とは対照的な特徴です。
問12	答え 1 明治時代以降の開拓により、農家1戸あたりの経営面積が広く、広大な土地を活用しやすかったから。	北海道では明治時代以降に本格的な開拓が進められ、農家1戸あたりの耕地面積が全国平均に比べて非常に広くなりました。この広大な土地を生かして、大型機械を導入した大規模な畑作や酪農が発達しました。

問1	北海道には「稚内（わっかない）」や「室蘭（むろらん）」など、特徴的な響きを持つ地名が多く存在します。これらの地名は、北海道やその周辺諸島に古くから住み、独自の言語や文化を築いてきた先住民の言葉に由来しています。この人々の名称として正しいものを選びなさい。 （2016年 群馬県公立入試 類似）			
	1. 防人	2. アイヌ	3. 屯田兵	4. えみし
問2	北海道の工業は、広大な農地で生産された農産物や、豊かな海でとれた水産物を原料とする分野が盛んです。2010年の製造品出荷額の内訳において、金属工業（13.9%）や化学工業（21.1%）を上回り、35.7%を占めて最大部門となっている工業の種類として、最も適切なものを選びなさい。 （2016年 大分県公立入試 類似）			
	1. 化学工業	2. 食品工業	3. 機械工業	4. 金属工業
問3	日本の乳牛飼育において、飲用として出荷される牛乳の生産地が、千葉県、神奈川県、愛知県といった大都市の周辺に多く見られる理由として、最も適切な説明はどれですか。 （2022年 埼玉県公立入試 類似）			
	1. 大都市の周辺は北海道に比べて土地代が安く、乳牛を放牧するための広大な土地を確保しやすい環境にある。	2. 飲用牛乳は加工用生乳に比べて重量が軽く、輸送コストがほとんどかからないため、あえて都市部で生産されている。	3. 法律によって、飲用牛乳は消費地と同じ地方自治体の中で生産・処理しなければならないと定められている。	4. 飲用牛乳は加工品に比べて製品の鮮度を保つことが重視されるため、大消費地に近接した地域で生産されている。
問4	日本の都道府県の配置において、最北端に位置する北海道は、新潟県や鹿児島県といった他の地域と比較して特有の自然環境を有しています。北海道の大部分を占める気候帯の背景や仕組みについて述べた文として、正しいものを選びなさい。 （2024年 徳島県公立入試 類似）			
	1. 周囲を海に囲まれているため、本州の山梨県などの内陸部よりも夏は暑い。	2. 日本海を流れる暖流の影響を強く受けるため、冬でも比較的温暖である。	3. 高緯度に位置するため冬の寒さが厳しく、年間の気温差が非常に大きい。	4. 季節風の影響で一年中雨や雪が多く、夏と冬の気温差がほとんどない。
問5	かつての石狩平野の自然環境と、その土地で行われた開発の背景について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 （2021年 神奈川県公立入試 類似）			
	1. 海岸近くの浅瀬を堤防で囲んで干し上げた土地であったため、塩害を防ぐための用水路整備を優先した。	2. 植物の遺体が分解されずに堆積した農業に適さない湿地帯であったため、排水や客土による土地改良を行った。	3. サンゴ礁が隆起してできた保水力のない土地であったため、地下ダムを建設して農業用水を確保した。	4. 火山噴出物が堆積した水はけの良すぎる土地であったため、大規模なかんがい施設を整備して畑作を行った。
問6	札幌市中心部を描いた2万5千分の1の地形図において、JR札幌駅から札幌市役所（地点B）までの図上の長さを測定したところ、ちょうど3cmであった。このとき、これら2地点間の実際の距離として適切なものはどれか。 （2021年 茨城県公立入試 類似）			
	1. 750m	2. 500m	3. 250m	4. 1000m
問7	十勝平野における大規模な畑作では、同じ耕地において数年周期で栽培する作物を変える工夫がなされています。このような栽培方法を取り入れている理由として、最も適切な説明はどれですか。 （2024年 滋賀県公立入試 類似）			
	1. 政府による米の生産調整に対応するため、もともと水田だった土地を畑に作り変えて別の作物を栽培するため	2. 冬の積雪期間を有効に活用して、同じ土地から一年のうちに二度の収穫を行い、農家の所得を増やすため	3. 特定の作物を連続して栽培することで起こる連作障害を防ぎ、土地が持つ生産力である地力を維持するため	4. 冷害による被害を最小限に抑えるため、寒さに強い作物だけを特定の広い区画に集めて単一栽培するため
問8	北海道では、サケの稚魚を人工的に育ててから川へ放流する取り組みが盛んに行われています。このような、自然の再生産能力を補い、水産資源を維持・増大させるために行われる「栽培漁業」の仕組みとして、最も適切な説明はどれですか。 （2019年 岡山県公立入試 類似）			
	1. 卵からかえした稚魚を、自力で生き抜く力がつくまで育ててから放流し、成長後に漁獲する。	2. 大型の漁船を用いて遠くの公海まで出向き、回遊している魚を網で一度に大量に漁獲する。	3. 海岸近くの浅瀬に産卵場所を人工的に作り、自然に卵が孵化して育つのを待ってから漁獲する。	4. 海の一部を網などで囲った生け簀（いけす）の中で、稚魚から成魚になるまで餌を与えて育てる。
問9	世界自然遺産である知床半島において、エコツーリズムを推進するために設置されている「高架木道」について、地面から高く浮かせて設置されている理由として最も適切な説明はどれですか。 （2021年 熊本県公立入試 類似）			
	1. 地熱による木材の腐敗を防止し、メンテナンスにかかる費用を最小限に抑えるため	2. 森林火災が発生した際に、木道が防火帯として機能し、延焼を食い止めるやすくするため	3. 冬の間に降り積もる深い雪に道が埋もれないようにし、一年を通じて観光を可能にするため	4. 歩行者が地面の植物を踏みつけるのを防ぎ、かつヒグマなどの野生動物との距離を保つため
問10	北海道の北東側に位置する海域では、冬季になるとシベリア沿岸から流れてきた氷が接岸し、一面が白く覆われる光景が見られます。この海域の名称と、押し寄せる氷の名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。 （2018年 山形県公立入試 類似）			
	1. オホーツク海 — 樹氷	2. 日本海 — 流氷	3. 太平洋 — 樹氷	4. オホーツク海 — 流氷
問11	北海道における外国人宿泊客数の月別統計を見ると、1月から3月にかけての時期に数値が大きく上昇するという特色があります。この時期に観光客が多く訪れる理由として、最も適切な説明はどれですか。 （2021年 茨城県公立入試 類似）			
	1. パウダースノーと呼ばれる良質な雪でのスキーや、雪まつりなどの行事を目的に訪れるため。	2. 秋の紅葉シーズンに合わせ、新幹線を利用して広大な農地の収穫風景を見学に来るため。	3. 本州よりも早く開花するサクラの鑑賞や、春の大型連休を利用した旅行者が増えるため。	4. 梅雨がなく、ラベンダーなどの花々が満開になる夏の涼しい気候を避暑目的で好むため。
問12	日本の北端に位置する北海道地方は、本州の大部分とは異なる気候の特色を持っています。夏は短く涼しい一方で、冬の寒さが非常に厳しく、季節による気温差が大きくなるこの気候帯の名称を、次の中から選びなさい。 （2024年 徳島県公立入試 類似）			
	1. 温暖湿潤気候	2. 亜寒帯（冷帯）	3. ツンドラ気候	4. 西岸海洋性気候

答え合わせ・解説

問1	答え 2 アイヌ	北海道の地名の多くは、先住民であるアイヌの人々が使用していた「アイヌ語」に由来しています。例えば「稚内」はアイヌ語で「冷たい水の出る川」を意味する言葉が語源となっており、自然の地形や特徴を反映した地名が各地に残されています。屯田兵は明治時代に北海道の開拓と北方の警備を兼ねて全国から送り込まれた兵士を指すため、先住民とは異なります。
問2	答え 2 食品工業	北海道では、大規模な経営が行われている農業や盛んな漁業によって得られた豊富な産物を活用した工業が発達しています。他の地方に比べて、地元の農産物や水産物を加工して出荷する食品工業の割合が非常に高いのが特徴です。
問3	答え 4 飲用牛乳は加工品に比べて製品の鮮度を保つことが重視されるため、大消費地に近接した地域で生産されている。	生乳の生産と流通には、製品の性質に応じた明確な特徴がある。牛乳（飲用）は液体であり、品質を維持するために鮮度が極めて重要視される。そのため、輸送時間を短縮できる大消費地の近郊で生産・処理される傾向が強い。一方、バターやチーズなどの原料となる加工用生乳は、広大な土地を持つ北海道が生産の約9割を占めている。加工品は飲用牛乳に比べて保存性が高く、遠方からの輸送にも適しているため、土地条件の有利な北海道での大規模生産が可能となっている。
問4	答え 3 高緯度に位置するため冬の寒さが厳しく、年間の気温差が非常に大きい。	北海道が属する亜寒帯（冷帯）は、赤道から離れた高緯度地域に特有の気候です。太陽からのエネルギーが少ないため冬は極めて寒冷になりますが、夏は日照時間が長くなるため一定の気温まで上昇します。その結果、夏と冬の気温の差が他の温帯地域よりも顕著に現れるというメカニズムを持っています。
問5	答え 2 植物の遺体が分解されずに堆積した農業に適さない湿地帯であったため、排水や客土による土地改良を行った。	石狩平野の開拓における最大の課題は、泥炭地と呼ばれる湿地帯の克服でした。泥炭地は植物が腐敗しきらずに積もったもので、そのままでは農業に適さないため、水を抜くための排水技術と、別の場所から土を運び入れる客土という高度な土地改良技術が組み合わせられました。他の選択肢にある「火山噴出物の土地」はシラス台地、「サンゴ礁の土地」は沖縄・南西諸島に関する記述であり、石狩平野の歴史的背景とは異なります。
問6	答え 1 750m	2万5千分の1の地形図では、実際の距離を25,000分の1に縮小して描いている。そのため、図上の1cmは実寸で25,000cm（250m）に相当する。図上の長さが3cmである場合、250mを3倍した750mが実際の距離となる。単位をセンチメートルからメートルへ換算する計算過程を正確に行うことが重要である。
問7	答え 3 特定の作物を連続して栽培することで起こる連作障害を防ぎ、土地が持つ生産力である地力を維持するため	同じ耕地で同じ種類の作物を繰り返し栽培すると、土壌の養分バランスが崩れたり、特定の病害虫が発生しやすくなったりする「連作障害」が発生します。十勝平野では、てん菜、小麦、ジャガイモ、豆類を組み合わせで順番に栽培することで、この障害を回避し、地力を維持しながら効率的な農業経営を行っています。一年に二回収穫するのは二毛作や二期作、水田から畑への変更は転作の説明であり、十勝平野の輪作の目的とは異なります。
問8	答え 1 卵からかえした稚魚を、自力で生き抜く力がつくまで育ててから放流し、成長後に漁獲する。	北海道のサケ漁などで代表されるこの方法は、自然界での生存率を高めるために、成長の最もデリケートな時期だけを人間が手助けする仕組みです。これに対し、出荷までずっと人間が餌を与えて管理し続ける方法は「養殖業」であり、放流を伴う栽培漁業とは明確に区別されます。
問9	答え 4 歩行者が地面の植物を踏みつけるのを防ぎ、かつヒグマなどの野生動物との距離を保つため	知床のような貴重な生態系が残る場所では、観光利用が自然破壊につながる「観光公害」を防ぐ必要があります。木道を地面から浮かせることで、貴重な植物の踏みつけを物理的に回避できるほか、電気柵を併設することでヒグマが木道内に侵入するのを防ぎ、野生動物との適切な距離を保ちながら安全に自然観察を行うことが可能になっています。これは、環境保護と観光資源の活用という、制度の目的を具現化した仕組みです。
問10	答え 4 オホーツク海 ― 流氷	北海道の北東部に面するオホーツク海では、冬になるとアムール川河口付近で凍った海水が風や海流に乗って南下し、流氷となって海岸に到達します。これに対し、日本海側は対馬海流（暖流）の影響を受けるため流氷は見られず、樹氷は山地の樹木に水分が凍り付く現象を指します。
問11	答え 1 パウダースノーと呼ばれる良質な雪でのスキーや、雪まつりなどの行事を目的に訪れるため。	北海道の観光は、かつては夏が主流でしたが、近年は東アジアなどの雪が少ない地域から、良質な雪（パウダースノー）を求めて冬に訪れる外国人が急増しています。1月から3月はスキーやスノーボードといったウィンタースポーツに加え、さっぽろ雪まつりなどの冬のイベントが充実しているため、宿泊客数が多くなる傾向にあります。
問12	答え 2 亜寒帯（冷帯）	日本の大部分は温暖な温帯に属していますが、緯度が高い北海道地方は、世界的な気候区分において亜寒帯（冷帯）に分類されます。この気候帯は、冬の寒冷な気候に耐えるための針葉樹林が広がっていることや、本州で見られるような梅雨や台風の影響を比較的受けにくいといった特徴があります。

問1 北海道の農業産出額の構成を示したデータでは、乳用牛や肉用牛といった「畜産」が51.7%を占め、全国平均の31.4%を大きく上回っています。北海道において、このように畜産が盛んになった背景や理由として最も適切な説明はどれですか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 大消費地である東京周辺への輸送距離が非常に短く、新鮮な食肉や牛乳を即座に届けられる有利な立地であったため。 | 2. 広大な土地と涼涼な気候を活かし、大規模な牧草地を確保して酪農などを行うのに適していたため。 | 3. 夏の高温多湿な気候を活かし、広大な土地で年に二度、米を収穫する二期作が行われたため。 | 4. 山がちで複雑な地形を活かし、小規模な土地で果樹栽培と畜産を組み合わせた多角経営を推進したため。 |
|--|--|---|--|

問2 北海道の石狩平野で見られる「泥炭地」の土地改良について、その目的と仕組みを説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2022年 三重県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 火山灰が降り積もった水持ちの悪い土地に、粘土質の土を混ぜ合わせることで、水田に必要な水を蓄えられるようにするため。 | 2. 山がちな地形で平地が少ないため、斜面を階段状に切り開いて石垣で固定し、日当たりの良さを活かしてみかんを栽培するため。 | 3. 砂丘が広がる乾燥した土地に、スプリンクラーなどの灌漑設備を整え、らっきょうやスイカなどの栽培を可能にするため。 | 4. 水分が多く植物の遺骸が堆積した土地に、別の場所から土を運び入れることで、排水性を高め稲作に適した農地にするため。 |
|--|---|--|---|

問3 北海道の石狩平野などは、かつて農耕に不向きな土地でしたが、現在では日本有数の稲作地帯となっています。このような発展を可能にした土地改良の背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 植物の遺骸が堆積した排水の悪い湿地を改良するため、排水路の整備や客土が行われた。 | 2. 火山灰が厚く堆積して水持ちが悪い台地を改良するため、大規模な水路が建設された。 | 3. 急傾斜地を階段状に削り、地滑りを防ぎながら標高の高い場所でも耕作を可能にした。 | 4. 海岸沿いの浅瀬に堤防を築いて海水を抜き、塩害に強い新たな耕地を造成した。 |
|---|--|--|---|

問4 北海道の自然環境と産業に関連して、網走市や知床半島の沿岸で見られる冬季の自然現象と、その海域の特徴について説明した文として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2025年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 太平洋に面しており、親潮(千島海流)の影響で一年中流水が漂い、大規模な稲作が行われている。 | 2. オホーツク海に面しており、冬に押し寄せる流水がプランクトンを運ぶため、豊かな漁場が形成される。 | 3. 日本海に面しており、暖流の影響で冬も海水温が高いため、流氷が接岸することはない。 | 4. オホーツク海に面しており、夏になると南東からの湿った季節風によって流氷が再び発生する。 |
|--|--|---|--|

問5 日本の都道府県別の統計において、北海道の耕地面積は全国の約25%という広大な面積を占めていますが、農業産出額の全国シェアは約13.5%となっています。この数値の比較から読み取れる、北海道の農業の特徴として適切なものはどれですか。 (2021年 兵庫県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|-------------------------------------|
| 1. 耕地面積は非常に広いが、農業産出額の合計は全国の都道府県の中で最も低い水準にある | 2. 広大な耕地面積を有しているが、面積の割合に比べると農業産出額の割合は低くなっている | 3. 耕地面積と農業産出額のどちらも、全国の約半分以上を占める圧倒的な規模である | 4. 耕地面積の割合よりも、農業産出額の全国シェアの方が高くなっている |
|---|--|--|-------------------------------------|

問6 十勝平野で行われている、同じ土地に異なる種類の作物を数年周期で順番に栽培する「輪作」の目的として、最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 滋賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 急傾斜地において土砂崩れを防ぎながら、効率よく肥料を吸収させるため | 2. 米の生産調整(減反政策)に伴い、水田を畑地に転換して活用するため | 3. 特定の病害虫の発生や土壌の栄養偏りによる連作障害を防ぐため | 4. 冷害による被害を最小限に抑えるため、収穫時期を極端に分散させるため |
|--------------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|

問7 北海道を東西に横断するように、日本海沿岸の石狩平野付近から太平洋沿岸の十勝平野付近までを直線で結んだとき、その区間の地形断面に見られる特徴として最も適切なものはどれですか。 (2021年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|-------------------------------------|
| 1. 中央部に大雪山系などの標高2000m級の険しい山地が連なり、その両端に平野が広がっている。 | 2. 中央部に大規模な盆地が存在し、東西の両端にのみ険しい山岳地帯が位置している。 | 3. 一箇所だけに孤立した高い火山がそびえており、それ以外の大部分は海拔の低い平坦な土地である。 | 4. 全域になだらかな丘陵地が続いており、標高の高い山地は存在しない。 |
|--|---|--|-------------------------------------|

問8 日本の諸地域の特徴をまとめた統計において、人口が約532万人であり、豊かな自然環境を背景に宿泊施設の延べ宿泊者数が約356万人、温泉地数が244箇所と全国的にも上位に位置する一方で、国宝の指定件数が1件にとどまっている地域はどこですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 関東地方 | 2. 九州地方 | 3. 中部地方 | 4. 北海道地方 |
|---------|---------|---------|----------|

問9 世界遺産に登録されている知床では、多くの観光客が訪れる一方で、自然環境を破壊しないための対策が取られています。湿原や高山植物が広がるエリアに「木道」が設置されている主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 周辺の森林から切り出された木材の輸送を効率化し、地元の林業を活性化させるため | 2. ヒグマなどの野生動物が、人間の歩行ルートに侵入できないように物理的に遮断するため | 3. 大雨が降った際に地面の侵食を防ぎ、土砂が海へ流出するのを食い止めるため | 4. 観光客が地面を直接踏み固めて、貴重な植物の成長を妨げないようにするため |
|---|---|--|--|

問10 1958年に約47.8万人であった札幌市の人口が、2018年には約195.2万人へと急増した背景にある、北海道特有の社会経済的な状況として最も適切なものはどれですか。 (2021年 宮城県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 道内の基幹産業であった石炭産業などの衰退により、地方から都市機能が集積する札幌市への人口移動が加速したため。 | 2. 北海道全域で稲作が拡大し、農業に従事する現役世代が札幌市周辺の広大な農地へ移住したため。 | 3. 札幌市に大規模な工業地帯が形成され、重化学工業に従事する労働者が全国から一斉に集まったため。 | 4. 道内の交通網が未発達であったため、物流の拠点として札幌市にのみ人口が残留せざるを得なかったため。 |
|---|---|---|---|

問11 ある北海道の自治体の農業産出額を確認したところ、乳用牛の産出額が突出して高く、一方で米や野菜の産出額はほぼゼロに近いという特徴が見られた。この自治体が位置する場所として最も適当なものはどれか。 (2025年 青森県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------------|---------------|----------------|-----------------|
| 1. 北海道中央部の盆地帯 | 2. 石狩川下流の石狩平野 | 3. 根室半島付近の根釧台地 | 4. オホーツク海沿岸の平野部 |
|---------------|---------------|----------------|-----------------|

問12 北海道の北東に位置する国後島などの北方領土をめぐる、日本政府の立場や現状についての説明として正しいものはどれか。 (2019年 岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 北海道の根室半島から最も遠い位置にあるため、現在はロシアとの間で共同統治を行うことで合意している。 | 2. 日露和親条約においてロシア領と決められたが、日本は歴史的な経緯から返還を求めている。 | 3. 日本固有の領土であるが、第二次世界大戦終結直後から現在までロシアによって法的根拠なく占拠されている。 | 4. サンフランシスコ平和条約において日本が放棄した千島列島の一部であり、現在は国際連合の管理下にある。 |
|--|---|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 広大な土地と冷涼な気候を活かし、大規模な牧草地を確保して酪農などを行うのに適していたため。	北海道、特に根釧台地などの地域は、夏でも気温が上がりにくく霧が発生しやすい冷涼な気候であるため、伝統的な稲作には向きませんでした。一方で、その広大な土地を牧草地として活用することで、牛を飼育する酪農や肉用牛の生産といった「畜産」が発展しました。このように、地形や気候といった自然環境に合わせて、最も効率的な農業形態を選択した結果、大規模な畜産経営が確立されました。
問2	答え 4 水分が多く植物の遺骸が堆積した土地に、別の場所から土を運び入れることで、排水性を高め稲作に適した農地にするため。	泥炭地は寒冷な気候の影響で植物が腐りきらずに堆積した土地で、スポンジのように水分を大量に含んでいます。このため、農業を行うには「客土」によって土壌を入れ替え、さらに排水路を整備して余分な水分を取り除く必要がありました。他の選択肢にある「火山灰地」は関東地方や九州地方、「砂丘」は鳥取県などの山陰地方、「段々畑でのみかん栽培」は愛媛県や和歌山県などの気候と地形を活かした取り組みです。
問3	答え 1 植物の遺体が堆積した排水の悪い湿地を改良するため、排水路の整備や客土が行われた。	石狩平野などに広がっていた泥炭地は、非常に排水が悪く、そのままでは稲作に適しませんでした。そこで、大規模な排水路を建設して湿地の水を除き、さらに他の場所から良質な土を運び入れる「客土（かくど）」を行うことで、肥沃な農地に生まれ変わらせました。選択肢にある「火山灰の台地」はシラス台地、「海水を抜く」は干拓に関する説明です。
問4	答え 2 オホーツク海に面しており、冬に押し寄せる流氷がプランクトンを運ぶため、豊かな漁場が形成される。	オホーツク海では、1月から3月にかけて流氷が接岸します。流氷には植物プランクトンが大量に含まれており、春に氷が溶け出すとそれらが一気に増殖するため、魚介類が豊富な好漁場となります。この特異な環境は、知床半島の自然保護や、網走・紋別などの地域の観光資源としても極めて重要です。
問5	答え 2 広大な耕地面積を有しているが、面積の割合に比べると農業産出額の割合は低くなっている	北海道の耕地面積は約1,147千haであり、全国の約4,496千haに対して約4分の1（25%）を占めています。一方で、農業産出額は約1,185十億円であり、全国の約8,798十億円に対して占める割合（シェア）は約13.5%にとどまります。このことから、北海道の農業は一戸あたりの経営規模が非常に大きいものの、単位面積あたりの収益性が高い施設園芸農業（ビニールハウス栽培）などが盛んな都市近郊の地域などと比べると、面積シェアに対する産出額シェアは低くなる傾向にあります。
問6	答え 3 特定の病害虫の発生や土壌の栄養偏りによる連作障害を防ぐため	十勝平野では、ジャガイモ・小麦・てんさい・豆類の4品目を中心とした輪作が確立されています。同じ場所で同じ作物を栽培し続けると、土壌の成分が偏ったり、特定の病気にかかりやすくなったりする「連作障害」が発生しますが、輪作によってこれを防ぎ、持続的な農業を可能にしています。
問7	答え 1 中央部に大雪山系などの標高2000m級の険しい山地が連なり、その両端に平野が広がっている。	北海道の中央部には「北海道の屋根」とも呼ばれる大雪山系などの険しい山々が南北に走っています。そのため、石狩平野（西側）から十勝平野（東側）へ向かう断面で見ると、中央付近で標高が2000m近くまで急激に高くなり、両端が低地になるという地形的特徴を示します。
問8	答え 4 北海道地方	北海道は、広大な土地と豊かな自然資源を活かした観光業が盛んで、温泉地数や宿泊者数は全国有数の規模を誇ります。一方で、明治時代以降の開拓が歴史の中心であるため、近世以前の文化財を中心とする国宝の指定件数は、古くからの歴史を持つ他の地方に比べて少ない傾向にあります。
問9	答え 4 観光客が地面を直接踏み固めて、貴重な植物の成長を妨げないようにするため	知床のような貴重な自然環境では、観光客が自由に歩き回ると足元の植物が踏み荒らされたり、土壌が踏み固められて植物が育たなくなったりする「踏みつけ」の被害が発生します。木道を設置することで観光客の動線を限定し、環境保護と観光利用の両立（エコツーリズム）を図っています。
問10	答え 1 道内の基幹産業であった石炭産業などの衰退により、地方から都市機能が集積する札幌市への人口移動が加速したため。	かつての北海道を支えた炭鉱などのエネルギー産業が衰退したことで、それらの地域から人口が流出し、代わって第3次産業（サービス業や小売業）が成長した札幌市に人口が吸収されました。このように、特定の都市に人口や経済機能が突出して集まる現象は、地方における一極集中の典型的な事例として挙げられます。札幌市の人口規模は1950年代の数倍に達しており、北海道の総人口の約3割から4割近くを占めるに至っています。
問11	答え 3 根室半島付近の根釧台地	農業産出額において乳用牛が圧倒的で、米や野菜がほとんど生産されていない特徴は、別海町などの根釧台地に見られる典型的な農業形態です。この地域は冷涼な気候のため酪農に特化しています。石狩平野は稲作、オホーツク海沿岸（北見市など）は玉ねぎなどの畑作が盛んです。
問12	答え 3 日本固有の領土であるが、第二次世界大戦終結直後から現在までロシアによって法的根拠なく占拠されている。	1855年の日露和親条約において、国後島を含む北方四島は日本の領土として確認されました。それ以降、一度も外国の領土となったことがない「日本固有の領土」ですが、1945年の終戦直後に当時のソ連（現在のロシア）によって占拠されました。日本政府は、サンフランシスコ平和条約で放棄した「千島列島」には北方四島は含まれないという立場をとっており、ロシアに対して一括返還を求めています。

問1	日本の生乳処理量を調査した統計において、バターやチーズの原料となる「加工用生乳」の処理量は北海道が全体の約89.3%と圧倒的であるのに対し、直接飲むための「飲用生乳」の処理量は関東や中京圏などでも高い数値を示しています。このような違いが生じる背景について正しく述べたものはどれですか。 （2022年 埼玉県公立入試 類似）			
	1. 北海道は広大な土地を活かした大規模な酪農が行われているが、遠方の大消費地へ鮮度を保ったまま届ける必要がある飲用牛乳よりも、保存のきく乳製品への加工に重点を置いている。	2. 飲用牛乳は加工品よりも市場価格が低いため、輸送コストを抑える目的で、すべての都道府県において消費量に見合った自給自足が行われている。	3. 加工用生乳は飲用生乳に比べて腐敗しやすいため、消費地から遠く離れた北海道のような冷涼な地域で集中的に加工する必要がある。	4. 大都市周辺では牛の飼料となる牧草を自給する広大な牧場を確保しやすいため、鮮度が求められる飲用牛乳の生産を独占している。
問2	日本には、知床、白神山地、屋久島、小笠原諸島、奄美大島・徳之島・沖縄島北部及び西表島の5つの世界自然遺産があります。これらが位置する北海道、青森県、秋田県、鹿児島県などの道県のうち、青森県（青森市）、秋田県（秋田市）、鹿児島県（鹿児島市）のように県名と県庁所在地名が一致する自治体がある一方で、北海道は名称が異なります。世界自然遺産である知床を有し、道庁所在地が置かれている都市の名称を答えなさい。 （2018年 千葉県公立入試 類似）			
	1. 秋田市	2. 青森市	3. 札幌市	4. 鹿児島市
問3	北海道の石狩平野など、かつて植物が十分に分解されずに積み重なった湿地が広がっていた地域において、農業を可能にするために行われた土地改良の説明として、最も適切なものはどれですか。なお、この地域では耕地面積のほぼすべてが畑や牧草地として利用されています。 （2025年 群馬県公立入試 類似）			
	1. 海岸線を大規模に埋め立てる「干拓」を行い、塩分を抜くことで大規模な機械化農業に適した土地を造成した。	2. 他の土地から性質の異なる土を運び入れる「客土」を行い、あわせて排水施設を整備して土地を乾かした。	3. 大規模なダムを建設して灌漑用水を確保し、もともと乾燥していた土地を水田へと変えるための水路を整備した。	4. 気温の低さを克服するために、農地の周囲に防風林を設置し、ビニールハウスなどの温室栽培のみに特化した。
問4	北海道における人口分布の変化について、1950年から2010年までの統計的な傾向を説明した文として正しいものはどれですか。なお、この期間において北海道全体の人口は約430万人から約551万人へ、札幌市の人口は約62万人（1960年）から約191万人へと推移しています。 （2016年 群馬県公立入試 類似）			
	1. 道内人口に占める札幌市の割合は、1960年から2010年にかけて一貫して減少傾向にある。	2. 札幌市の人口は1960年から2010年にかけて、北海道全体の人口増加分を補えないほど減少した。	3. 北海道全体の人口増加に比例して、道内すべての市町村の人口が均等に3倍以上になった。	4. 北海道全体の人口が緩やかに増加する中で、札幌市の人口はそれを大きく上回るペースで増加した。
問5	ニセコ町や倶知安町が進める「ニセコモデル」において、外国人宿泊客の急増に伴う課題を解決するために、特に重視されている取り組みの内容として正しいものはどれですか。 （2025年 群馬県公立入試 類似）			
	1. 冬季の観光客を分散させるため、冬のスキー場を閉鎖して通年型の農業体験へ転換すること	2. 地元の農産物を輸出するために、観光客の移動手段を制限して物流網を優先すること	3. 公共交通機関と宿泊施設を結ぶ二次交通の利便性向上と、官民連携による環境整備	4. 国内の修学旅行生を優先的に受け入れるための、外国人客向けの宿泊料金の引き上げ
問6	北海道の倶知安町やニセコ町における外国人宿泊客数の統計では、1 2月から3月にかけての冬季の客数が突出して多く、他の月との格差が非常に大きいという特徴が見られます。このような宿泊客の動向が生まれている地理的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 （2025年 群馬県公立入試 類似）			
	1. 夏休みの期間を利用した大規模な農業体験が外国人家族連れに普及しているため	2. 世界屈指の雪質を求めて海外から多くのスキー・スノーボード客が訪れるため	3. 梅雨のない気候を求めて、アジア圏から多くの避暑客が長期滞在するため	4. 流水を観察するための砕氷船観光が、外国人観光客の最大の目的となっているため
問7	北海道地方の気候の特色について、6月から7月にかけての状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 （2021年 神奈川県公立入試 類似）			
	1. 南東から吹き込む湿った季節風の影響により、本州よりも早く本格的な雨期が訪れる。	2. 梅雨の影響をほとんど受けないため、本州以南で見られるような長期間の雨期がはっきりしない。	3. 北東から吹く冷たい風（ヤマセ）の影響で、この時期だけ急激に降水量が増加する。	4. 停滞前線が長期間にわたって停滞するため、年間で最も降水量が多い時期となる。
問8	日本の農作物の生産統計において、北海道が全国の生産量の約8割を占め、主に砂糖の原料として利用される寒冷地向けの作物は何ですか。 （2018年 長野県公立入試 類似）			
	1. りんご	2. さとうきび	3. てんさい	4. 茶
問9	十勝平野における大規模な畑作では、同じ耕地において数年周期で栽培する作物を変える工夫がなされています。このような栽培方法を取り入れている理由として、最も適切な説明はどれですか。 （2024年 滋賀県公立入試 類似）			
	1. 政府による米の生産調整に対応するため、もともと水田だった土地を畑に作り変えて別の作物を栽培するため	2. 冬の積雪期間を有効に活用して、同じ土地から一年のうちに二度の収穫を行い、農家の所得を増やすため	3. 特定の作物を連続して栽培することで起こる連作障害を防ぎ、土地が持つ生産力である地力を維持するため	4. 冷害による被害を最小限に抑えるため、寒さに強い作物だけを特定の広い区画に集めて単一栽培するため
問10	北海道の県庁所在地である札幌市の気候の特徴を説明した文として、統計データに基づき正しく述べたものを次の中から選びなさい。 （2022年 熊本県公立入試 類似）			
	1. 1月の平均気温は5度前後であり、夏には梅雨の影響で雨が非常に多いが、冬は乾燥して晴天が続く。	2. 1年を通じて気温の変化が小さく、1月の平均気温も15度を上回り、夏に極めて多い降水量が見られる。	3. 1月の平均気温が氷点下の約マイナス5度まで下がり、年間の降水量は各月100mmから150mm程度で推移する。	4. 夏は非常に高温になる一方で、冬の降水量が極端に少なく、年間降水量が1000mmを下回る乾燥した気候である。
問11	北海道東部の根釧台地に位置し、夏に濃霧が発生しやすい冷涼な気候を生かして大規模な酪農が行われており、農業産出額の大部分を乳用牛が占めている自治体はどれか。 （2025年 青森県公立入試 類似）			
	1. 北見市	2. 別海町	3. 新篠津村	4. 夕張市

答え合わせ・解説

問1	答え 1 北海道は広大な土地を活かした大規模な酪農が行われているが、遠方の大消費地へ鮮度を保ったまま届ける必要がある飲用牛乳よりも、保存のきく乳製品への加工に重点を置いている。	生乳の利用形態と産地の関係は、消費地との距離と「鮮度」の関係で説明される。北海道は日本の生乳生産の大部分を担っているが、東京などの大消費地から距離があるため、輸送中に鮮度が落ちやすい飲用牛乳としての出荷には不利な側面がある。そのため、北海道では生乳をバターやチーズといった保存のきく乳製品に加工してから全国へ流通させている。これに対し、千葉県や神奈川県などの大都市近郊では、輸送距離の短さを活かし、鮮度が求められる飲用牛乳の供給に特化した酪農が行われている。
問2	答え 3 札幌市	都道府県名と都道府県庁所在地名が異なるケースは、全国で18の府県（北海道を含む）にあります。北海道の場合、道庁が置かれているのは札幌市です。また、北海道にある知床は、北半球における流水の南限であり、海と陸の生態系がつながっていることなどが評価され、世界自然遺産に登録されています。
問3	答え 2 他の土地から性質の異なる土を運び入れる「客土」を行い、あわせて排水施設を整備して土地を乾かした。	石狩平野などに広がる泥炭地は、水はけが悪く農業には不向きな土地でした。明治時代以降、この土地を利用するために、他の場所から肥沃な土を運び込む「客土（かくど）」や、網目状に溝を掘るなどの「排水施設」の整備が行われました。これに加えて、寒冷な気候でも育つような「作物改良」が進められたことで、現在は広大な畑作・酪農地帯へと発展しました。
問4	答え 4 北海道全体の人口が緩やかに増加する中で、札幌市の人口はそれを大きく上回るペースで増加した。	数値データを確認すると、北海道全体では約1.3倍の緩やかな増加であるのに対し、札幌市は50年間で3倍以上に達しています。札幌市という一つの都市が、道全体の人口成長を牽引すると同時に、道内の他の地域から人口を吸収する形で拡大を続けてきたことが読み取れます。これが道内における人口集中の実態です。
問5	答え 3 公共交通機関と宿泊施設を結ぶ二次交通の利便性向上と、官民連携による環境整備	特定の季節に外国人客が集中すると、移動手段の不足や言語の壁といった課題が生じます。これに対し、タクシーやバスなどの「二次交通」を柔軟に運用し、民間企業と自治体が役割を分担して観光客の受け入れ体制を整えることが、二セコモデルの本質的な取り組みです。
問6	答え 2 世界屈指の雪質を求めて海外から多くのスキー・スノーボード客が訪れるため	二セコ周辺は「パウダースノー」と呼ばれる質の高い雪が海外で高く評価されており、オーストラリアを中心とした海外からの観光客が冬のレジャーを目的に集中的に訪れます。統計データにおいて冬季の宿泊客が突出しているのは、この季節的なアクティビティが観光需要の核心となっているためです。
問7	答え 2 梅雨の影響をほとんど受けないため、本州以南で見られるような長期間の雨期がはっきりしない。	北海道は地理的に緯度が高く、本州以南に長雨をもたらす梅雨前線（停滞前線）が北上してくる頃には勢力が弱まったり、消滅したりすることが多いため、明確な「梅雨」が存在しません。これは北海道の大きな気候の特色の一つであり、この時期の降水量が本州に比べて少ないことは、観光や農業における利点となることもあります。
問8	答え 3 てんさい	北海道では、その広大な土地と涼しい気候を活かした大規模な農業が行われています。「てんさい（ビート）」は寒さに強い作物で、日本の生産量のほとんどが北海道で占められており、収穫後は製糖工場で砂糖に加工されます。同じ砂糖の原料である「さとうきび」は、沖縄県や鹿児島県の南西諸島など、暖かい地域で栽培される作物であるため、産地の違いを区別することが重要です。
問9	答え 3 特定の作物を連続して栽培することで起こる連作障害を防ぎ、土地が持つ生産力である地力を維持するため	同じ耕地で同じ種類の作物を繰り返し栽培すると、土壌の養分バランスが崩れたり、特定の病害虫が発生しやすくなったりする「連作障害」が発生します。十勝平野では、てん菜、小麦、ジャガイモ、豆類を組み合わせる順番に栽培することで、この障害を回避し、地力を維持しながら効率的な農業経営を行っています。一年に二回収穫するのは二毛作や二期作、水田から畑への変更は転作の説明であり、十勝平野の輪作の目的とは異なります。
問10	答え 3 1月の平均気温が氷点下の約マイナス5度まで下がり、年間の降水量は各月100mmから150mm程度で推移する。	札幌市の気候は、北国特有の寒冷な性質を持っています。気温の面では、1月の平均気温がマイナス5度付近まで低下する厳しい寒さが特徴です。降水量の面では、本州以南で見られるような梅雨や台風による極端な降水量の増加が少なく、年間を通じて各月100mmから150mm程度と、比較的安定した推移を見せるのが冷帯（亜寒帯）に属する地域の傾向です。
問11	答え 2 別海町	根釧台地は寒流である親潮の影響で夏でも気温が上がりにくく、稲作や畑作が難しいため、広大な土地と牧草を利用した酪農が発達しました。選択肢の北見市は玉ねぎなどの畑作、新篠津村は石狩平野での稲作が中心であり、夕張市はメロン栽培などで知られています。

問1 北海道の日本海沿岸に位置する稚内付近では、5月から6月にかけて月別平均日照時間がピークを迎えます。このような自然環境に関する説明として、誤っているものはどれですか。 (2021年 兵庫県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 夏季の日照時間が長いのは、寒流である千島海流が宗谷海峡を通して日本海へ流れ込み、雲の発生を抑えるからである。 | 2. この地域が日本の他地域に比べて高緯度にあることは、夏季の昼の時間が長くなる要因となっている。 | 3. 5月から6月にかけて日照時間が長くなるのは、梅雨前線の影響を本州ほど受けにくいことも背景にある。 | 4. 日本海を北上する対馬海流は暖流であり、この地域の気候に影響を与えている。 |
|---|---|---|---|

問2 北海道の内陸部における気温や降水の特徴を説明した内容として、正しいものはどれですか。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 季節風の影響で冬に降水量（降雪量）が集中するが、海に囲まれているため一年を通じて気温の変化は小さい。 | 2. 海の影響を受けにくいと、夏と冬の気温差（年較差）が非常に大きく、冬の月平均気温は氷点下になる。 | 3. 一年を通じて降水量が多く、特に夏から秋にかけては台風の影響を頻繁に受けるため、年平均気温が高い。 | 4. 暖流である対馬海流の影響を強く受けるため、冬でも比較的温暖であり、雪が降ることは稀である。 |
|---|--|---|--|

問3 北海道における二〇〇五年から二〇二〇年にかけての農業統計では、農業経営体の総数が五百四十七から三百四十九へと大幅に減少する一方で、団体経営の数は三十五から四十三へと増加しています。また、経営耕地面積の合計は大きな減少を見せていないため、一経営体あたりの面積が拡大しています。このような北海道農業の動向を表す言葉として最も適切なものはどれですか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)

- | | | | |
|------------------|--------------|----------------|------------|
| 1. 二毛作による土地利用の向上 | 2. 農業経営の大規模化 | 3. 減反政策による生産調整 | 4. 近郊農業の展開 |
|------------------|--------------|----------------|------------|

問4 北海道の気候的特色を活かした産業と、それに伴う人口の動きについて述べた文として、正しいものを選んでください。 (2024年 岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 梅雨の影響を強く受ける夏の気候を利用した稲作が盛んであり、その収穫期である秋にのみ外国人人口が急増する。 | 2. 冬の降雪が少ないため、一年中安定して工場を稼働させることができ、工業に従事する外国人人口が年間を通して安定している。 | 3. 年間を通して温暖で湿潤な気候であるため、特定の時期に労働者が増減することなく、外国人人口は常に一定である。 | 4. 冬の降雪と夏の涼しい気候が観光資源となり、季節によって外国人人口の割合が大きく変動する要因となっている。 |
|---|---|--|---|

問5 北海道の大規模な畑作地帯では、1つの土地において1年目に豆、2年目に小麦、3年目にてんさい、4年目にじゃがいもというように、数年周期で育てる作物を変える工夫が行われています。このような栽培方法を何といいますか。 (2018年 長野県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|---------|-------|--------|
| 1. 二毛作 | 2. 促成栽培 | 3. 輪作 | 4. 二期作 |
|--------|---------|-------|--------|

問6 地形図における縮尺の仕組みについて述べた文として、正しいものはどれか。なお、札幌市の北海道大学植物園から南東方向に位置する市役所（地点B）までの実際の距離を1km（1000m）とした場合を想定して答えなさい。 (2021年 茨城県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------------------|------------------------------|------------------------------|--------------------------------|
| 1. 2万5千分の1の地形図では、図上の長さは4cmになる。 | 2. 5万分の1の地形図では、図上の長さは4cmになる。 | 3. 5万分の1の地形図では、図上の長さは5cmになる。 | 4. 2万5千分の1の地形図では、図上の長さは2cmになる。 |
|--------------------------------|------------------------------|------------------------------|--------------------------------|

問7 北海道の北東側に位置する海域では、冬季になるとシベリア沿岸から流れてきた氷が接岸し、一面が白く覆われる光景が見られます。この海域の名称と、押し寄せる氷の名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2018年 山形県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------------|-------------|----------------|-------------|
| 1. オホーツク海 — 樹氷 | 2. 日本海 — 流氷 | 3. オホーツク海 — 流氷 | 4. 太平洋 — 樹氷 |
|----------------|-------------|----------------|-------------|

問8 北海道の各地域の自然環境について述べた文のうち、網走や紋別などを含むオホーツク海沿岸の特色として最も適切なものはどれですか。 (2024年 福島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 夏に千島海流（親潮）の上を吹き渡る湿った冷たい風の影響で、濃霧が発生しやすい。 | 2. 冬になるとシベリア沿岸から凍結した海水が運ばれ、海岸を埋め尽くすことがある。 | 3. 十勝平野を中心に火山灰の土壌が広がっており、大規模な畑作や酪農が行われている。 | 4. 対馬海流の影響を強く受け、冬には北西の季節風によって日本海側に大量の雪をもたらす。 |
|--|---|--|--|

問9 かつての石狩平野の自然環境と、その土地で行われた開発の背景について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 神奈川県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 海岸近くの浅瀬を堤防で囲んで干し上げた土地であったため、塩害を防ぐための用水路整備を優先した。 | 2. サンゴ礁が隆起してできた保水力のない土地であったため、地下ダムを建設して農業用水を確保した。 | 3. 火山噴出物が堆積した水はけの良い土地であったため、大規模なかんがい施設を整備して畑作を行った。 | 4. 植物の遺体が分解されずに堆積した農業に適さない湿地帯であったため、排水や客土による土地改良を行った。 |
|--|---|--|---|

問10 石狩川はかつて、平野部で非常に激しく蛇行して流れており、大雨のたびに深刻な洪水被害をもたらしていました。この問題を解決し、土地を有効活用するために明治時代以降に行われた河川改修工事の内容と、その後の変化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 川の蛇行部分を切り離して直線化する工事が行われ、排水が改善されたことで、湿地帯だった土地が広大な水田へと生まれ変わった。 | 2. 川の流れをせき止める巨大な多目的ダムを平野部に連続して建設し、水力発電による電力を周辺のアルミニウム工場に供給するようになった。 | 3. 川底を大幅に掘り下げて水深を確保する工事が行われたことで、日本海側から内陸部まで大型の貨物船が航行できる運河として整備された。 | 4. 川の周囲に堤防として大規模な防風林を設置し、冬の北西の季節風による農作物への塩害を防ぐことで、畑作が中心の地域となった。 |
|---|---|--|---|

問11 北海道の農業は、広大な十勝平野などを中心に日本の食料自給に大きく貢献していますが、人口に占める農業従事者の割合は全国平均よりも低いという特徴があります。このような数値が表れる背景にある、北海道の農業の仕組みとして最も適切なものはどれですか。 (2021年 兵庫県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 1戸あたりの経営面積が広く、大型機械を活用した大規模な農業が行われているため | 2. 都市近郊での施設園芸が中心であり、限られた土地で少人数の家族労働が行われているため | 3. 農地の多くが牧場として利用されており、農作物を作る従事者が不足しているため | 4. 冷涼な気候を活かした稲作が中心であり、冬の間の就業人口が極端に少なくなるため |
|---|--|--|---|

問12 北海道の農業産出額において、畜産が全体の中央値や平均を大きく上回り、5割を超える高い割合を占めている理由として最も適切な説明はどれですか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 冷涼な気候と広大な土地を活かし、酪農や肉用牛の飼育が大規模に行われているため | 2. 温暖な気候を利用して、牛の放牧と米の二毛作を組み合わせた生産が行われているため | 3. 水田単作地帯から、野菜や果樹を中心とした多角経営への転換が最も進んだため | 4. 都市近郊の立地を活かし、新鮮な豚肉や鶏肉を供給する施設園芸が発達したため |
|---|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 夏季の日照時間が長いのは、寒流である千島海流が宗谷海峡を通して日本海へ流れ込み、雲の発生を抑えるからである。	北海道の日本海沿岸の気候に影響を与える主要な海流は、暖流の対馬海流です。寒流の千島海流（親潮）は、主に北海道の東部や太平洋沿岸を南下する海流であり、夏季に冷たく湿った空気がこの海流上で冷やされると濃霧が発生し、逆に日照時間を短くさせる原因となります。稚内付近の日照時間が長い理由は、高緯度による昼の時間の長さや、梅雨の影響が小さいといった要因によるものです。
問2	答え 2 海の影響を受けにくいため、夏と冬の気温差（年較差）が非常に大きく、冬の月平均気温は氷点下になる。	海には温度を一定に保つ働きがありますが、北海道の内陸部は海から遠ざかっているため、その恩恵を十分に受けられません。結果として、夏は暑く冬は厳しい寒さとなり、年平均気温が低い北海道の中でも特に冬の寒冷さが際立つ傾向にあります。台風の影響や多雨な気候は、この地域の主な特徴とは言えません。
問3	答え 2 農業経営の大規模化	農業に従事する世帯（農業経営体）の数が減少する中で、一経営体あたりの経営耕地面積が広がる現象は「大規模化」と呼ばれます。北海道では、離農した農家の土地を他の経営体や団体経営が引き継ぐことで、広大な土地を効率よく管理する体制への移行が進んでいます。特に団体経営の割合が増加している点は、組織的な農業運営が強化されている背景を示しています。
問4	答え 4 冬の降雪と夏の涼しい気候が観光資源となり、季節によって外国人人口の割合が大きく変動する要因となっている。	北海道は梅雨の影響をほとんど受けず、夏は涼しく冬は雪が多いという気候の特色があります。この特色を活かした観光業や農業が発展しており、特に占冠村や二セコ町のような国際的なリゾート地では、冬のスキーシーズンや夏の避暑シーズンに外国人労働者が増加します。このように、その土地の自然環境や気候が、産業構造や地域住民の構成に大きな影響を与えています。
問5	答え 3 輪作	1年ごとに異なる種類の作物を順序立てて栽培する仕組みを「輪作」と呼びます。これは、北海道のように広い農地を活用する地域で見られる特徴的な農法です。同じ土地で同じ作物を繰り返し作る「連作」を避けることで、土壌の質を保ち、収穫量が減るのを防ぐ効果があります。
問6	答え 1 2万5千分の1の地形図では、図上の長さは4cmになる。	実際の距離が1km（100,000cm）の場合、2万5千分の1の地形図では、100,000を25,000で割った4cmとして表現される。一方で、5万分の1の地形図では、100,000を50,000で割った2cmとなる。縮尺の分母が大きくなるほど、同じ実際の距離は図上でより短く表示されるという因果関係を理解しておく必要がある。
問7	答え 3 オホーツク海 ― 流氷	北海道の北東部に面するオホーツク海では、冬になるとアムール川河口付近で凍った海水が風や海流に乗って南下し、流氷となって海岸に到達します。これに対し、日本海側は対馬海流（暖流）の影響を受けるため流氷は見られず、樹氷は山地の樹木に水分が凍り付く現象を指します。
問8	答え 2 冬になるとシベリア沿岸から凍結した海水が運ばれ、海岸を埋め尽くすことがある。	オホーツク海沿岸の最大の特徴は、冬に見られる流氷です。これはアムール川からの淡水流入などで塩分濃度が低くなった海域で氷が形成され、それが南下してくることで起こります。他の選択肢については、夏の濃霧は太平洋側、火山灰土壌（シラスや黒土）による大規模農業は十勝平野など、日本海側の豪雪は季節風と対馬海流の影響によるものであり、地域ごとの気候区分を正しく理解しておくことが重要です。
問9	答え 4 植物の遺体が分解されずに堆積した農業に適さない湿地帯であったため、排水や客土による土地改良を行った。	石狩平野の開拓における最大の課題は、泥炭地と呼ばれる湿地帯の克服でした。泥炭地は植物が腐敗しきらずに積もったもので、そのままでは農業に適さないため、水を抜くための排水技術と、別の場所から土を運び入れる客土という高度な土地改良技術が組み合わせられました。他の選択肢にある「火山噴出物の土地」はシラス台地、「サンゴ礁の土地」は沖縄・南西諸島に関する記述であり、石狩平野の歴史的背景とは異なります。
問10	答え 1 川の蛇行部分を切り離して直線化する工事が行われ、排水が改善されたことで、湿地帯だった土地が広大な水田へと生まれ変わった。	かつての石狩川は全長が現在の約1.4倍もあり、非常に蛇行が激しい川でした。洪水を防ぎ、泥炭地の水を抜いて農地（水田）として利用しやすくするため、蛇行している部分をショートカット（捷水路工事）して流れを直線化する工事が進められました。これにより、水はけが良くなり、石狩平野は北海道を代表する米どころへと発展しました。工事によって切り離された蛇行の跡は、現在も各地に「三日月湖」として残っています。
問11	答え 1 1戸あたりの経営面積が広く、大型機械を活用した大規模な農業が行われているため	北海道の農業は、他の都府県と比較して1戸あたりの耕地面積が非常に広く、大型機械を導入した大規模な経営が主流です。これにより、少ない労働力で広範囲の農地を管理できるため、農業生産額は大きいものの、全人口に対する農業従事者の割合は全国平均を下回る水準となっています。このように、生産性の高さと従事者の割合は必ずしも比例しません。
問12	答え 1 冷涼な気候と広大な土地を活かし、酪農や肉用牛の飼育が大規模に行われているため	北海道の農業は、1戸あたりの耕地面積が非常に広く、大型機械を用いた効率的な生産が行われています。特に冷涼な気候は乳牛の飼育に適しており、広大な原野や草地を利用した大規模な酪農が営まれていることから、産出額に占める畜産の割合が非常に高くなっています。これに対して、都市近郊型農業や温暖な気候を利用した促成栽培は、他の地域の特色です。

- 問1 北海道のオホーツク海沿岸で見られる流氷について、その発生と移動の背景を説明した文として最も適切なものはどれですか。 （2026年 愛知県公立入試 類似）

1. シベリアからの強い寒気によって凍った海水が、風や海流の影響を受けて南下し、北海道の沿岸に到達する。

2. アラスカ沿岸で発達した流氷が、偏西風の影響を受けて東から西へと移動し、北海道の知床半島周辺に漂着する。

3. 日本海側の対馬海流が強い寒気で冷やされることで氷が発生し、北西の季節風によって北海道の北部に押し寄せられる。

4. 北極海から流れ出した巨大な氷の塊が、親潮（千島海流）に乗って南下し、北海道の太平洋側に接岸する。
- 問2 明治時代、ロシアなど北方からの脅威に備える警備と、北海道の土地の開拓を同時に行う目的で送り込まれた兵士とその家族を何と呼びますか。 （2016年 群馬県公立入試 類似）

1. 守護代

2. 屯田兵

3. 防人

4. 開拓使
- 問3 北海道の倶知安町や二セコ町における外国人宿泊客数の統計では、1 2月から3月にかけての冬季の客数が突出して多く、他の月との格差が非常に大きいという特徴が見られます。このような宿泊客の動向が生まれている地理的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 （2025年 群馬県公立入試 類似）

1. 世界屈指の雪質を求めて海外から多くのスキー・スノーボード客が訪れるため

2. 梅雨のない気候を求めて、アジア圏から多くの避暑客が長期滞在するため

3. 流氷を観察するための砕氷船観光が、外国人観光客の最大の目的となっているため

4. 夏休みの期間を利用した大規模な農業体験が外国人家族連れに普及しているため
- 問4 北海道東部の太平洋沿岸地域において、夏の気候に大きな影響を与える「海霧」の要因となる、海流の名称と季節風の向きの組み合わせとして正しいものはどれか。 （2024年 石川県公立入試 類似）

1. 対馬海流と南東の季節風

2. 親潮（千島海流）と南東の季節風

3. 親潮（千島海流）と北東の季節風

4. 黒潮（日本海流）と北西の季節風
- 問5 北海道二セコ町の月別外国人宿泊者数は12月から3月にかけて突出して多く、産業別の就業者数割合では飲食業・宿泊業が17.8%で最も高い数値を示しています。これらのデータから読み取れる地域の特徴として、最も適切な記述を選びなさい。 （2026年 岩手県公立入試 類似）

1. 全国の平均と比較して製造業の就業者割合が極めて高く、外国人観光客は年間を通じて均等に宿泊している。

2. ウィンタースポーツを目的とした外国人観光客の増加に伴い、飲食・宿泊関連の産業が町の中心的な雇用を生み出している。

3. 夏季の観光需要の高まりに合わせて外国人観光客が集まるため、年間を通じて農業の就業者数が最も多い。

4. 外国人観光客の宿泊が夏場に集中しているため、冬場は観光関連産業の就業者が減少し農業へ移行している。
- 問6 日本の酪農において、北海道は大消費地から離れているという地理的条件に対応するため、生産された生乳の多くをある形態に変化させて出荷しています。この形態と、その主な製品の組み合わせとして正しいものはどれですか。 （2016年 秋田県公立入試 類似）

1. 地場消費用 ― ヨーグルトや生クリーム

2. 輸出用 ― 脱脂粉乳や練乳

3. 飲用 ― 牛乳やコーヒー牛乳

4. 加工用 ― バターやチーズ
- 問7 日本の各地域の農業を比較した統計において、北海道は農業従事者一人あたりの農業産出額が約1570万円となっており、他地域の平均である約310万円と比べて極めて高い数値を示しています。このような北海道の農業を支える背景として最も適切なものはどれですか。 （2024年 福岡県公立入試 類似）

1. 都心に近い立地を活かし、限られた土地に多くの労働力を投入して単位面積あたりの収益を上げる集約的な農業を行っている。

2. 気候が温暖であることを利用し、ビニールハウスなどの施設を用いて他の地域より出荷時期を早める促成栽培が主流である。

3. 傾斜地の多い地形を活かして段々畑を作り、果樹などの高付加価値な作物を少人数で栽培している。

4. 農業従事者一人あたりの耕地面積が非常に広く、大型の機械を導入することで生産性を高めている。
- 問8 北海道の泥炭地における土地改良の取り組みについて、不毛な湿地を農地に変えるために「排水施設の整備」と共に行われた、他の場所から新しい土を運び入れる作業の名称を選びなさい。 （2025年 群馬県公立入試 類似）

1. 客土

2. 干拓

3. 減反

4. 輪作
- 問9 二セコ町や倶知安町が進める「二セコモデル」において、外国人宿泊客の急増に伴う課題を解決するために、特に重視されている取り組みの内容として正しいものはどれですか。 （2025年 群馬県公立入試 類似）

1. 公共交通機関と宿泊施設を結ぶ二次交通の利便性向上と、官民連携による環境整備

2. 国内の修学旅行生を優先的に受け入れるための、外国人客向けの宿泊料金の引き上げ

3. 冬季の観光客を分散させるため、冬のスキー場を閉鎖して通年型の農業体験へ転換すること

4. 地元の農産物を輸出するために、観光客の移動手段を制限して物流網を優先すること
- 問10 北海道のある都市の気候統計において、年平均気温が約8.9度、年降水量が約1106.5mmであり、特に12月や1月の降水量が比較的多いというデータが見られました。この都市が位置する場所として最も適切な条件はどれですか。 （2018年 長野県公立入試 類似）

1. 北海道の東側に位置し、親潮（寒流）の影響を強く受ける地域

2. オホーツク海に面し、冬には流氷が押し寄せる地域

3. 北海道の中央部に位置し、海から離れた盆地状の地域

4. 北海道の西側に位置し、日本海の影響を受ける地域
- 問11 日本の農業の状況を分析した資料において、農業就業者一人あたりの耕地面積が他の地方に比べて極めて大きく、かつ地方別の米の生産量割合において国内最大のシェアを占めている地方はどこですか。 （2016年 愛媛県公立入試 類似）

1. 東北地方

2. 近畿地方

3. 九州地方

4. 北海道
- 問12 北海道の石狩平野では、かつて稲作に適さない水分を多く含んだ泥炭地が広がっていました。この土地を農地に変えるために、他の場所から性質の異なる土を運び入れ、もとの土と混ぜ合わせて土壌を改良する方法が行われました。この技術の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 （2024年 福島県公立入試 類似）

1. 干拓

2. 開拓

3. 輪作

4. 客土

答え合わせ・解説

問1	答え 1 シベリアからの強い寒気によって凍った海水が、風や海流の影響を受けて南下し、北海道の沿岸に到達する。	流氷の形成には、シベリア大陸から吹き付ける非常に冷たい空気が不可欠です。この寒気によってオホーツク海の塩分濃度が低い表面層が凍り、それが北西の季節風や海流によって南へ運ばれることで、北海道の北東沿岸にたどり着くという仕組みになっています。
問2	答え 2 屯田兵	明治政府は、ロシアの南下政策に対する国防上の必要性と、広大な未開地の開発を両立させるため、1874年に屯田兵制度を設けました。主に土族（元武士）が家族とともに北海道へ渡り、厳しい自然環境の中で現在の札幌や旭川といった地域の発展の基礎を築きました。
問3	答え 1 世界屈指の雪質を求めて海外から多くのスキー・スノーボード客が訪れるため	ニセコ周辺は「パウダースノー」と呼ばれる質の高い雪が海外で高く評価されており、オーストラリアを中心とした海外からの観光客が冬のレジャーを目的に集中的に訪れます。統計データにおいて冬季の宿泊客が突出しているのは、この季節的なアクティビティが観光需要の核心となっているためです。
問4	答え 2 親潮（千島海流）と南東の季節風	北海道東部の太平洋沿岸では、夏に南東から湿った空気が流れ込みますが、この空気が千島列島付近から南下してくる寒流の「親潮（千島海流）」の影響を受けることで冷やされ、濃い霧が発生します。この現象は、この地域の夏の気温が上がりにくい一因ともなっており、農作物の生育に影響を与える「冷害」の原因になることもあります。
問5	答え 2 ウインタースポーツを目的とした外国人観光客の増加に伴い、飲食・宿泊関連の産業が町の中心的な雇用を生み出している。	ニセコ町では、12月から3月という冬の時期に外国人宿泊者数が突出して多くなっています。これは良質な雪を求めて訪れるスキー客などの影響であり、それに伴って飲食業や宿泊業の就業者割合が最も高い水準となっています。
問6	答え 4 加工用 ― バターやチーズ	北海道で生産される生乳の約84%は、バターやチーズなどの原料となる「加工用」として利用されています。これは生乳のままでは長距離輸送の間に品質が低下してしまうため、保存性を高めた乳製品に加工する必要があるからです。対して、都市に近い産地では、ほぼすべての生乳が「飲用」としてそのまま出荷される傾向にあります。
問7	答え 4 農業従事者一人あたりの耕地面積が非常に広く、大型の機械を導入することで生産性を高めている。	北海道の農業は、明治時代以降の開拓の歴史を背景に、他都府県と比較して一戸あたりの経営規模が非常に大きいのが特徴です。広大な耕地を効率よく管理するため、大型のトラクターやコンバインなどの機械化が進んでおり、その結果として、農業従事者一人あたりの生産額が他地域を大きく上回る大規模経営が実現しています。
問8	答え 1 客土	泥炭地は植物の遺骸が腐敗しきらずに堆積した土地で、水分が非常に多く農業に適しません。この土地に別の場所から良好な土を運び込んで層を作ることを「客土（かくど）」と呼びます。この作業によって土地の質を改善し、排水施設で水分を除くことで、ジャガイモやテンサイなどの畑作や、牧草地としての利用が可能になりました。
問9	答え 1 公共交通機関と宿泊施設を結ぶ二次交通の利便性向上と、官民連携による環境整備	特定の季節に外国人客が集中すると、移動手段の不足や言語の壁といった課題が生じます。これに対し、タクシーやバスなどの「二次交通」を柔軟に運用し、民間企業と自治体が役割を分担して観光客の受け入れ体制を整えることが、ニセコモデルの本質的な取り組みです。
問10	答え 4 北海道の西側に位置し、日本海の影響を受ける地域	北海道の日本海側に位置する都市（札幌など）は、対馬海流（暖流）の影響を受けるため、冬に北西の季節風によってもたらされる雪の影響で、12月や1月の降水量が多くなります。年平均気温が9度前後、降水量が1100mm程度という数値は、北海道の中でも比較的温暖で、冬の降雪が顕著な西岸地域の典型的な特徴を示しています。
問11	答え 4 北海道	広大な石狩平野などを中心に、かつての開拓によって整備された一区画あたりの面積が広い農地が広がっています。このため、大型機械を活用した効率的な大規模農業が展開されており、一人あたりの経営規模が非常に大きいのが特徴です。また、かつては寒冷地での栽培は困難とされていましたが、品種改良の進展により、現在では地方別で見た米の生産量でも全国トップクラスのシェアを誇っています。
問12	答え 4 客土	石狩平野などの低湿地には、枯れた植物が腐敗せずに堆積した「泥炭地」が多く分布しており、そのままでは水はけが悪く養分も乏しいため、稲作には向きませんでした。そこで、別の場所から肥沃な土や砂を運んでくる「客土（きゃくど）」という技術が大規模に行われました。これにより土壌の質が向上し、現在のような大規模な稲作地帯へと発展した歴史があります。選択肢にある「干拓」は海や湖を陸地にするごと、「輪作」は同じ土地で異なる種類の作物を交互に栽培することを指します。

- 問1 北海道の太平洋側に夏に発生する濃霧は、周辺の気候や産業に大きな影響を与えます。この霧が発生する一因となっている、北から南下してくる寒流の名称として正しいものを選びなさい。 (2026年 島根県公立入試 類似)
1. 日本海流 2. 対馬海流 3. 黒潮 4. 親潮
- 問2 都道府県別にみた観光地の特徴に関する統計において、自然の観光地数が90か所以上、レクリエーション地数が250か所以上と際立って多い一方で、国指定の重要文化財（建造物）の数は30か所未満にとどまるという特徴を持つ都道府県はどこか、次の中から選びなさい。 (2015年 岐阜県公立入試 類似)
1. 北海道 2. 奈良県 3. 東京都 4. 京都府
- 問3 農業従事者数と耕地面積の関係を示した資料において、他地域が「労働力が多く、耕地面積が狭い」傾向にあるのに対し、北海道は「労働力が少なく、耕地面積が極めて広い」という独自の特徴が見られます。このような北海道の農業の特色を端的に説明したものとして、正しいものはどれですか。 (2024年 福岡県公立入試 類似)
1. 伝統的な手作業を中心とした多角経営 2. 労働力集約型による小規模経営 3. バイオテクノロジーを駆使した都市近郊農業 4. 大型の機械を活用した大規模経営
- 問4 北海道の北部に位置しながら、上川盆地で稲作が盛んに行われている理由について、この地域の気候の特性から説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
1. 季節風の影響で一年中雨が多く、灌漑施設に頼らずに水田に水を引くことができるため 2. 内陸のため夏は比較的気温が上がり、稲の成長に必要な熱が得られる内陸性気候であるため 3. 一年を通じて暖流の影響を強く受けるため、冬でも雪が降らず温暖な気候が続くため 4. 標高が高いため、夏でも涼しく害虫の被害を受けにくいという気候特性を持っているため
- 問5 北海道の北東部に位置する海域で見られる流氷は、冬季の重要な観光資源となっています。この地域における流氷観光の具体的な内容として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 山形県公立入試 類似)
1. 流氷を溶かして作った真水を大規模なパイプラインで本州へ送る施設を見学する。 2. 流氷の上を歩いて北方領土まで渡り、現地の歴史を学習するツアーに参加する。 3. 砕氷船と呼ばれる特殊な船に乗り、海面の氷を割りながら進む様子を間近で見学する。 4. 暖流に乗って流氷とともにやってくるカツオやマグロなどの大型魚を一本釣りで狙う。
- 問6 北海道ではパルプ・紙・紙加工品製造業が地域の主要な産業の一つとなっています。この工業が北海道で発達した背景として、最も適切な理由を選びなさい。 (2021年 京都府公立入試 類似)
1. 原料となる豊かな森林資源が豊富に存在するため 2. 大規模な消費地である東京圏に隣接しているため 3. 海外から輸入した木材チップの加工に特化した貿易港があるため 4. 内陸部に高度な技術を持つ機械部品工場が集積しているため
- 問7 北海道において、宿泊施設の延べ宿泊者数や温泉地数が全国的に見て極めて多い水準にある理由と、その観光業の特色について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
1. 火山帯に位置する地理的条件を活かした温泉地が各地にあり、広大な自然景観やパウダースノーなどの地域資源を求めて国内外から多くの観光客が訪れるため。 2. 冬季の積雪が厳しいため、観光の主力は夏場の避暑や農業体験に限定されており、季節による宿泊者数の変動が極めて大きい構造となっているため。 3. 首都圏からの距離が近いこと、日帰りの観光客を主なターゲットとした小規模な宿泊施設が特定の都市に集中し、効率的な運営が行われているため。 4. 歴史的な寺社仏閣が全国で最も多く、それらの伝統的建造物を宿泊施設として再利用する取り組みが全道で進んでいるため。
- 問8 北海道の十勝平野などで行われている、同じ土地に異なる種類の作物を数年ごとに順序立てて栽培する「輪作」の目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 長野県公立入試 類似)
1. ビニールハウスなどの施設を利用して成長を早め、出荷時期をずらすことで収益を上げるため。 2. 1年間に同じ土地で2種類の作物を栽培し、土地の利用効率を最大限に高めるため。 3. 特定の病害虫の発生を抑え、土壌の肥沃さを維持して連作障害を防ぐため。 4. 機械化による作業効率を向上させるため、1つの農地で1種類の作物のみを栽培し続けるため
- 問9 日本の国内における旅客輸送の状況について、東京都から北海道への移動を事例として説明した文として、適切なものはどれか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
1. 環境負荷を低減する目的から、二酸化炭素排出量の多い航空機の利用が制限されており、鉄道が唯一の公共交通機関となっている。 2. 青函トンネルの開通以降、鉄道による輸送コストが大幅に低下したため、航空機から鉄道への利用転換が完全に完了している。 3. 長距離の移動となるため、速達性に優れた航空機の利用が主流となっているが、新幹線の延伸などにより鉄道も重要な役割を担っている。 4. フェリーを利用した海上輸送が旅客輸送の中心であり、航空機や鉄道は補完的な手段として位置づけられている。
- 問10 北海道の県庁所在地である札幌市の気候の特徴を説明した文として、統計データに基づき正しく述べたものを次の中から選びなさい。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
1. 1月の平均気温が氷点下の約マイナス5度まで下がり、年間の降水量は各月100mmから150mm程度で推移する。 2. 1年を通じて気温の変化が小さく、1月の平均気温も15度を上回り、夏に極めて多い降水量が見られる。 3. 1月の平均気温は5度前後であり、夏には梅雨の影響で雨が非常に多いが、冬は乾燥して晴天が続く。 4. 夏は非常に高温になる一方で、冬の降水量が極端に少なく、年間降水量が1000mmを下回る乾燥した気候である。
- 問11 本州の最北端に位置し、北海道の松前半島付近から津軽海峡の海底を通る青函トンネルによって、北海道と陸路で結ばれている県はどこですか。 (2018年 長野県公立入試 類似)
1. 山形県 2. 青森県 3. 岩手県 4. 秋田県
- 問12 国際連合の専門機関の一つで、教育・科学・文化の振興を通じて国際平和に貢献することを目的としており、人類共通の財産を保護するための「世界遺産リスト」を管理している組織の名称として正しいものを選びなさい。 (2016年 大分県公立入試 類似)
1. ユネスコ 2. 国際労働機関 (ILO) 3. 世界保健機関 (WHO) 4. ユニセフ

答え合わせ・解説

問1	答え 4 親潮	北海道の東方沖を北から南へと流れる寒流は「親潮（千島海流）」です。夏に太平洋から吹く湿った季節風がこの冷たい親潮の上を通過することで、水蒸気が冷やされて霧が発生します。一方、黒潮（日本海流）は日本の南岸を北上する暖流であり、この霧の発生原因とは異なります。
問2	答え 1 北海道	北海道は、明治時代以降の開拓という歴史的背景から、京都府や奈良県のような古都と比較して歴史的な建造物の数は少ない傾向にあります。その一方で、広大な土地と豊かな自然環境を活かした国立公園などの自然景勝地や、スキー場・キャンプ場といったレクリエーション施設が非常に多く、自然観光を中心とした独自の産業構造を持っています。
問3	答え 4 大型の機械を活用した大規模経営	北海道は平坦で広大な土地に恵まれているため、他地域のような小規模な農地を細かく管理するスタイルではなく、広大な農地を少人数で管理する「大規模経営」が行われています。この形態を維持するために、大型の機械が不可欠な道具となっており、これが北海道の景観や農業の強みとなっています。
問4	答え 2 内陸のため夏は比較的気温が上がり、稲の成長に必要な熱が得られる内陸性気候であるため	上川盆地は海から離れた内陸に位置しているため、夏は海沿いの地域に比べて気温が上昇しやすい「内陸性気候」の性質を持っています。稲の結実には夏の一定以上の高温が必要であるため、この気候特性が北海道での稲作を可能にしています。一方で、冬は非常に寒さが厳しく、積雪量が多いことも特徴の一つです。
問5	答え 3 砕氷船と呼ばれる特殊な船に乗り、海面の氷を割りながら進む様子を間近で見学する。	網走や紋別などのオホーツク海沿岸の都市では、分厚い氷を砕きながら進むことができる「砕氷船」が運航されており、冬の北海道を代表する観光地となっています。流氷は寒冷な親潮（千島海流）の影響を受けて南下してくるものであり、暖流とは無関係です。また、流氷の上を歩いて国境を越えるような観光は行われていません。
問6	答え 1 原料となる豊かな森林資源が豊富に存在するため	パルプ・紙・紙加工品製造業は、木材を原料とするため、森林資源が豊富な地域で発達しやすいという特性があります。北海道は日本全体の森林面積の多くを占めており、この豊かな森林資源を背景に製紙業などが地域の主要産業へと成長しました。
問7	答え 1 火山帯に位置する地理的条件を活かした温泉地が各地にあり、広大な自然景観やパウダースノーなどの地域資源を求めて国内外から多くの観光客が訪れるため。	北海道には活発な火山活動に由来する温泉地が数多く存在します。これに加えて、国立公園に指定されるような広大な自然環境や、冬の質の高い雪といった独自の資源が観光の目玉となっています。これらが大規模な宿泊施設の整備と結びつき、高い延べ宿泊者数を維持する要因となっています。
問8	答え 3 特定の病害虫の発生を抑え、土壌の肥沃さを維持して連作障害を防ぐため。	同じ土地で同じ作物を繰り返し栽培し続けると、特定の病害虫が発生しやすくなったり、土壌の養分が偏ったりして作物の育ちが悪くなる「連作障害」が発生します。これを防ぐために、豆類、小麦、てんさい、じゃがいもといった性質の異なる作物を順番に植え替えることで、土地の生産性を維持しています。
問9	答え 3 長距離の移動となるため、速達性に優れた航空機の利用が主流となっているが、新幹線の延伸などにより鉄道も重要な役割を担っている。	日本の長距離旅客輸送では、目的地までの所要時間を短縮できる航空機が大きなシェアを占めています。特に東京から北海道への移動では航空機の利用が圧倒的ですが、北海道新幹線の開業など鉄道網の整備も進められており、天候の影響を受けにくい安定した輸送手段として鉄道も並行して機能しています。他の選択肢にあるような「鉄道への完全な転換」や「航空機の利用制限」といった事実は現在の日本にはありません。
問10	答え 1 1月の平均気温が氷点下の約マイナス5度まで下がり、年間の降水量は各月100mmから150mm程度で推移する。	札幌市の気候は、北国特有の寒冷な性質を持っています。気温の面では、1月の平均気温がマイナス5度付近まで低下する厳しい寒さが特徴です。降水量の面では、本州以南で見られるような梅雨や台風による極端な降水量の増加が少なく、年間を通じて各月100mmから150mm程度と、比較的安定した推移を見せるのが冷帯（亜寒帯）に属する地域の傾向です。
問11	答え 2 青森県	本州と北海道の間にある津軽海峡には、世界最長の海底トンネルの一つである青函トンネルが通っています。このトンネルは青森県と北海道を結んでおり、新幹線や貨物列車が走行することで、天候に左右されない安定した輸送ルートとしての役割を果たしています。
問12	答え 1 ユネスコ	第二次世界大戦後の1946年に創設された組織で、正式名称を国際連合教育科学文化機関といいます。教育や文化活動を通じて諸国民の連帯を強めることで、戦争の防止と平和の維持を目指しています。世界遺産条約に基づき、価値のある自然や文化財を登録・保護する活動で広く知られています。

- 問1 ある北海道の自治体の農業産出額を確認したところ、乳用牛の産出額が突出して高く、一方で米や野菜の産出額はほぼゼロに近いという特徴が見られた。この自治体が位置する場所として最も適当なものはどれか。 （2025年 青森県公立入試 類似）

1. 石狩川下流の石狩平野

2. 北海道中央部の盆地帯

3. 根室半島付近の根釧台地

4. オホーツク海沿岸の平野部
- 問2 北海道の道庁所在地である札幌周辺の地理的特徴と、地名の由来について述べた文として、最も適切なものはどれか。 （2021年 熊本県公立入試 類似）

1. 石狩川や豊平川の堆積作用によって形成された石狩平野に位置し、地名は先住民族であるアイヌの言葉に由来する。

2. 大規模な火山灰地が広がる根釧台地に位置し、地名は明治時代に移り住んだ屯田兵の出身地に由来する。

3. 広大な泥炭地が広がる石狩平野の沿岸部に位置し、地名は本州から移り住んだ開拓使の言葉に由来する。

4. 十勝川の流域に広がる十勝平野に位置し、地名は江戸時代の松前藩の役職名に由来する。
- 問3 北海道において、近年、冬季の外国人宿泊者数が夏季の宿泊者数を上回るほどに急増している背景として、最も適切な理由はどれですか。 （2018年 山形県公立入試 類似）

1. 冬季は夏季に比べて航空運賃や宿泊代金が大幅に安くなるよう、国と地方自治体が連携して大規模な割引政策を継続しているため。

2. 冬季の農閑期を利用して、外国人観光客を対象とした大規模な農作業体験ツアーが全道各地で定着したため。

3. 質の高い雪（パウダースノー）を求めて来日するスキー客の増加や、雪まつりなどの冬特有の観光資源が海外で高く評価されているため。

4. 夏季の北海道は梅雨の影響で天候が不安定になることが多く、天候の安定した冬季に観光客が集中するようになったため。
- 問4 1960年から2010年までの50年間で、札幌市の人口は約62万人から約191万人へと3倍以上に急増しました。北海道全体の人口が1950年の約430万人から2010年の約551万人へと緩やかな推移を見せる中で、このような札幌市の人口動態が北海道全体に与えている状況として最も適切なものはどれですか。 （2016年 群馬県公立入試 類似）

1. 北海道全体の人口が減少局面に入ったことで、札幌市の人口も2010年に向けて激減した。

2. 道内人口に占める札幌市の割合が一貫して上昇し、札幌市への一極集中が進んでいる。

3. 道内の各都市が札幌市と同様のペースで成長したため、札幌市の人口占有率は低下している。

4. 札幌市の人口増加率よりも北海道全体の人口増加率の方が高く、人口の分散が起きている。
- 問5 ある都道府県の統計データにおいて、小麦の収穫量が約71万7千トンと全国で突出して多く、豚の飼育数も約76万頭と多くを占める都道府県として適切なものを、次のうちから1つ選びなさい。 （2026年 岩手県公立入試 類似）

1. 鹿児島県

2. 東京都

3. 北海道

4. 愛知県
- 問6 北海道の歴史や文化において、古くからこの地に居住しているアイヌの人々に関する説明として、最も適切なものを選びなさい。 （2016年 群馬県公立入試 類似）

1. 明治時代に北海道を開拓するために、農業を行いながら北方警備を担当した人々である。

2. 江戸時代に徳川将軍家から北海道の支配権を認められ、松前藩を組織して交易を独占した一族である。

3. 独自の言語であるアイヌ語を持ち、自然界のあらゆるものに魂が宿ると考える独自の文化を育んできた先住民である。

4. 鎌倉時代に本州から渡り、北海道南部の館（たて）を中心に和人の勢力を広げた武士の集団である。
- 問7 北海道東部に突き出した半島に位置し、海と陸のつながりによる独特の生態系が評価され、2005年にユネスコの世界遺産（自然遺産）に登録された場所はどこですか。 （2021年 千葉県公立入試 類似）

1. 小笠原諸島

2. 知床

3. 白神山地

4. 屋久島
- 問8 明治時代に行われた北海道の開拓の背景と特徴について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。 （2021年 神奈川県公立入試 類似）

1. アイヌの人々の独自の文化や土地利用の権利を保護することを最優先に開発が進められた。

2. 広大な森林を維持するため、農業は一切行わずに毛皮の採取と輸出のみを推奨した。

3. 九州地方の沿岸警備を目的として配置された防人が、大規模な志願制度によって北海道へ移された。

4. 政府は開拓使を設置し、屯田兵による北方の防衛と大規模な土地改良を並行して進めた。
- 問9 北海道の石狩平野などでは、かつて枯れた植物が十分に分解されずに積み重なった、水分が多く農業に不向きな「泥炭地」が広がっていました。この土地で稲作などを可能にするため、他の場所から質の異なる土を運び入れて土壌の性質を改善する土地改良の手法を何といいますか。 （2022年 三重県公立入試 類似）

1. 段々畑の造成

2. 輪作

3. 干拓

4. 客土
- 問10 日本の都道府県別の農業産出額において、品目別の割合を示した統計資料のうち、畜産の割合が約52.5%と過半数を占め、一方で米の割合が約12.2%にとどまっているという特徴を持つ都道府県はどこですか。 （2016年 岩手県公立入試 類似）

1. 北海道

2. 新潟県

3. 千葉県

4. 宮崎県
- 問11 北海道の各地域における就業者の状況について述べた文として、統計的な背景から判断して最も適切なものはどれですか。なお、北海道では道東や道南の広い範囲において、特定の産業分類の数値が高い傾向にあります。 （2026年 三重県公立入試 類似）

1. 札幌市などの大都市圏のみに商業が集中しているため、地方部では第二次産業の就業者が最も多い。

2. 大規模な工業団地の整備が進んだ結果、道内全域で製造業に従事する第二次産業の割合が第三次産業を上回っている。

3. 農業産出額が全国トップであるため、多くの市町村で第一次産業の就業者数が全体の過半数を占めている。

4. 自然景観を活かした観光業や地域のサービス業が発達しているため、多くの市町村で第三次産業の就業者が高い割合を占めている。
- 問12 日本の諸地域の気候区分において、北海道の札幌市などで見られる、冬の寒さが厳しく1月の平均気温が氷点下になる気候帯の名称として適切なものを次の中から選びなさい。 （2022年 熊本県公立入試 類似）

1. 熱帯

2. 冷帯（亜寒帯）

3. 温帯

4. 乾燥帯
- 問13 日本の農業統計において、北海道は1戸あたりの経営耕地面積が10ヘクタール以上の大規模な農家が約6割を占めており、これは全国平均の約2.5%と比較して極めて高い数値です。また、農業産出額の構成比では、乳用牛や肉用牛などの部門が50%を超えています。このような北海道の農業の特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 （2017年 埼玉県公立入試 類似）

1. 人口の多い大都市への出荷を目的として、限られた土地で野菜を育てる近郊農業が盛んである。

2. 冷涼な気候を活かして、米や果実の生産を主力とした小規模な家族経営が中心となっている。

3. 広大な土地を活用した大規模経営が行われ、生産額では畜産が大きな割合を占めている。

4. 全国平均と比べて1戸あたりの耕地面積は小さいが、機械化によって米の産出額が半分を超えている。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 根室半島付近の根釧台地	農業産出額において乳用牛が圧倒的で、米や野菜がほとんど生産されていない特徴は、別海町などの根釧台地に見られる典型的な農業形態です。この地域は冷涼な気候のため酪農に特化しています。石狩平野は稲作、オホーツク海沿岸（北見市など）は玉ねぎなどの畑作が盛んです。
問2	答え 1 石狩川や豊平川の堆積作用によって形成された石狩平野に位置し、地名は先住民族であるアイヌの言葉に由来する。	札幌の市街地は、石狩川の支流である豊平川などが運んだ土砂が積もってできた石狩平野に位置しています。北海道にはアイヌ語を由来とする地名が多く、札幌（サツ・ポロ・ペツ）もその一つです。根釧台地は大規模な酪農、十勝平野は畑作が盛んな地域であり、札幌の位置する地形とは異なります。
問3	答え 3 質の高い雪（パウダースノー）を求めて来日するスキー客の増加や、雪まつりなどの冬特有の観光資源が海外で高く評価されているため。	北海道の冬季観光は、海外から「JAPOW（Japan Powder Snow）」と称賛される質の高い雪を目的としたスキー・スノーボード客によって牽引されています。加えて、さっぽろ雪まつりなどの冬のイベントも国際的な認知度が高まっており、これらが2012年から2016年にかけての宿泊者数急増の主な要因となりました。一方、北海道には本州のような梅雨がほとんどないため、天候を理由とした夏季の敬遠は当てはまりません。
問4	答え 2 道内人口に占める札幌市の割合が一貫して上昇し、札幌市への一極集中が進んでいる。	北海道全体の人口が緩やかな伸び、あるいは横ばい傾向にあるのに対し、札幌市の人口は1960年から2010年の間に約3倍以上という極めて高い伸び率を記録しています。この結果、北海道の総人口に対する札幌市の人口が占める割合は上昇し続けており、特定の都市に人口や経済機能が集中する「一極集中」という地理的特徴が顕著になっています。
問5	答え 3 北海道	小麦の収穫量が他県を引き離して極めて多く、豚の飼育数も上位に位置する都道府県は北海道です。なお、愛知県は輸送用機械器具出荷額、東京都は国内航空乗客数、鹿児島県は豚の飼育数が全国最多という特徴があります。
問6	答え 3 独自の言語であるアイヌ語を持ち、自然界のあらゆるものに魂が宿ると考える独自の文化を育んできた先住民である。	アイヌの人々は、日本列島の北部や周辺諸島に古くから定住している先住民族です。彼らは日本語とは系統が異なる「アイヌ語」という独自の言語を持ち、自然の中の動植物や現象を「カムイ（神）」として敬う独自の精神文化を持っていました。現在はその伝統や文化を保護・振興するための施策が進められています。他の選択肢にある屯田兵や松前藩などは、アイヌの人々とは対照的な立場や異なる歴史的背景を持つ集団です。
問7	答え 2 知床	北海道東部にある知床半島は、冬に流れ着く流氷がもたらすプランクトンを起点として、魚類、鳥類、そしてヒグマなどの大型哺乳類までが密接に関わる豊かな生態系を持っています。この貴重な自然環境が認められ、日本では3番目の世界自然遺産として登録されました。
問8	答え 4 政府は開拓使を設置し、屯田兵による北方の防衛と大規模な土地改良を並行して進めた。	明治政府は、ロシアに対する防衛（国境の確定）と、資源の確保や失業した土族の救済を目的に北海道の開拓を急ぎました。開拓使が中心となって欧米の農業技術を導入し、屯田兵が厳しい自然環境の中で土地を切り拓いたことが、現在の北海道の農地基盤につながっています。
問9	答え 4 客土	石狩平野などに広がる泥炭地は、水はけが悪く地盤も軟弱であったため、そのままでは稲作に適いませんでした。そこで、他の場所から肥えた土や粘土質の土を運び込む「客土」という大規模な土地改良が行われました。この努力によって、北海道は日本有数の稲作地帯へと発展しました。干拓は海や湖を仕切って水を出し陸地化すること、輪作は同じ土地で時期をずらして異なる農作物を育てることを指します。
問10	答え 1 北海道	広大な土地を活かした大規模な農業が展開されており、特に十勝平野や根釧台地などを中心に乳牛や肉用牛の飼育が盛んです。そのため、農業産出額の構成では畜産が5割を超えるという、他県にはあまり見られない独特の構成比を示しています。米どころとして知られる新潟県などとは対照的な構成です。
問11	答え 4 自然景観を活かした観光業や地域のサービス業が発達しているため、多くの市町村で第三次産業の就業者が高い割合を占めている。	現代の日本の産業構造では全国的に第三次産業の割合が高いですが、北海道においてもその傾向は顕著です。広大な土地を利用した農業が盛んな道東地域や、歴史的景観や温泉資源を持つ道南地域などでは、観光客向けのサービス業や小売業が地域経済を支える重要な基盤となっています。そのため、都市部以外の市町村であっても、統計上は第三次産業の就業者割合が高い水準で維持されています。
問12	答え 2 冷帯（亜寒帯）	日本の大部分は温帯に属していますが、最北に位置する北海道は冷帯（亜寒帯）に分類されます。この気候帯は、冬の寒さが非常に厳しく、夏が短いことが特徴です。札幌市の統計を見ると、1月の平均気温がマイナス5度前後まで下がる一方、7月には20度を超えるなど、年間の気温差が大きいことも特色の一つです。
問13	答え 3 広大な土地を活用した大規模経営が行われ、生産額では畜産が大きな割合を占めている。	北海道は明治時代以降の開拓の歴史や、広大で平坦な土地という地理的条件を背景に、機械を用いた「大規模経営」が発達しました。気候面では、特に東部や北部を中心に冷涼な地域が多く、稲作よりも広大な草地を利用した酪農などの「畜産」に適しています。その結果、農業産出額においても畜産が51.7%と過半数を占め、米や野菜が中心となる日本全体の農業構造とは異なる独自の特色を持っています。

問1	北海道の各地域の自然環境について述べた文のうち、網走や紋別などを含むオホーツク海沿岸の特色として最も適切なものはどれですか。 (2024年 福島県公立入試 類似)			
	1. 夏に千島海流（親潮）の上を吹き渡る湿った冷たい風の影響で、濃霧が発生しやすい。	2. 対馬海流の影響を強く受け、冬には北西の季節風によって日本海側に大量の雪をもたらす。	3. 冬になるとシベリア沿岸から凍結した海水が運ばれ、海岸を埋め尽くすことがある。	4. 十勝平野を中心に火山灰の土壌が広がっており、大規模な畑作や酪農が行われている。
問2	1977年から2017年にかけての北海道における稲作の動向について、作付面積と総収穫量はともに減少していますが、1ヘクタールあたりの収穫量は増加傾向にあります。このように、一定の土地面積から得られる収穫量が増える背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 岡山県公立入試 類似)			
	1. 化学肥料の使用を一切やめ、伝統的な手作業による農法に回帰したため。	2. 政府の減反政策により、小規模な農家がすべて廃業して大規模農場に集約されたため。	3. 地球温暖化の影響のみによって、北海道全域が稲作に最適な亜熱帯気候に変化したため	4. 生産技術の向上や寒さに強い品種改良が進み、土地あたりの生産性が高まったため。
問3	北海道の知床半島のすぐ東側に位置し、択捉島、色丹島、歯舞群島とともに、日本固有の領土でありながら現在はロシアによって法的根拠なく占拠されている島を何というか。 (2019年 岡山県公立入試 類似)			
	1. 択捉島	2. 国後島	3. 歯舞群島	4. 色丹島
問4	北海道の内陸部に位置する地域の気候の特徴について、ある地点の統計を確認したところ、1月の平均気温がマイナス20度近くまで下がり、年間のすべての月において降水量が100mm未満という非常に少ない数値を示していました。この地域の気候について正しく述べたものはどれですか。 (2019年 富山県公立入試 類似)			
	1. 季節風の影響で冬の降水量は多いが、夏は太平洋高気圧の影響で乾燥する。	2. 夏に「やませ」と呼ばれる冷たい北東風の影響を強く受け、夏でも霧が発生しやすい。	3. 冬の寒さが極めて厳しく、夏は冷涼で、年間を通して降水量が少ない。	4. 対馬海流の影響を強く受けるため、冬に雪が多く、年間降水量が2000mmを超える。
問5	日本の乳牛飼育において、飲用として出荷される牛乳の生産地が、千葉県、神奈川県、愛知県といった大都市の周辺に多く見られる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 埼玉県公立入試 類似)			
	1. 大都市の周辺は北海道に比べて土地代が安く、乳牛を放牧するための広大な土地を確保しやすい環境にある。	2. 飲用牛乳は加工用生乳に比べて重量が軽く、輸送コストがほとんどかからないため、あえて都市部で生産されている。	3. 法律によって、飲用牛乳は消費地と同じ地方自治体の中で生産・処理しなければならないと定められている。	4. 飲用牛乳は加工品に比べて製品の鮮度を保つことが重視されるため、大消費地に近接した地域で生産されている。
問6	1960年から2010年までの50年間で、札幌市の人口は約62万人から約191万人へと3倍以上に急増しました。北海道全体の人口が1950年の約430万人から2010年の約551万人へと緩やかな推移を見せる中で、このような札幌市の人口動態が北海道全体に与えている状況として最も適切なものはどれですか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)			
	1. 道内人口に占める札幌市の割合が一貫して上昇し、札幌市への一極集中が進んでいる。	2. 北海道全体の人口が減少局面に入ったことで、札幌市の人口も2010年に向けて激減した。	3. 道内の各都市が札幌市と同様のペースで成長したため、札幌市の人口占有率は低下している。	4. 札幌市の人口増加率よりも北海道全体の人口増加率の方が高く、人口の分散が起きている。
問7	北海道の釧路市周辺では、夏の時期に「海霧」と呼ばれる濃霧が発生し、日照時間が短くなるという気候上の特徴が見られます。このような現象が起こる背景として、地形や海流の影響を説明したものとして最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2021年 茨城県公立入試 類似)			
	1. 南東からの湿った季節風が、寒流である千島海流（親潮）の上を通る際に冷やされるため。	2. オホーツク海高気圧から吹き出す冷涼な風が、大雪山系を越える際に上昇気流を作るため。	3. 熱帯低気圧から変わった温帯低気圧が、太平洋沿岸の暖流によって勢力を強めるため。	4. 北西からの乾燥した季節風が、暖流である日本海流（黒潮）の影響で湿気を帯びるため。
問8	北海道の産業別就業者数に関する特徴として、最も適切な記述はどれか。 (2025年 青森県公立入試 類似)			
	1. 大消費地である東京に近いため、近郊農業による第1次産業の割合が全国で最も高い。	2. 第1次産業から第3次産業まで、それぞれの就業者割合がほぼ均等になっている。	3. 大規模な工業団地が多く、第2次産業の割合が全産業の中で最も高い。	4. 広大な土地で農業が行われているため、第1次産業の割合が全国平均に比べて高い。
問9	北海道の北東に位置する国後島などの北方領土をめぐる、日本政府の立場や現状についての説明として正しいものはどれか。 (2019年 岡山県公立入試 類似)			
	1. 日本固有の領土であるが、第二次世界大戦終結直後から現在までロシアによって法的根拠なく占拠されている。	2. 北海道の根室半島から最も遠い位置にあるため、現在はロシアとの間で共同統治を行うことで合意している。	3. 日露親善条約においてロシア領と決められたが、日本は歴史的な経緯から返還を求めている。	4. サンフランシスコ平和条約において日本が放棄した千島列島の一部であり、現在は国際連合の管理下にある。
問10	日本の諸地域のうち、北海道地方について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。なお、北海道には世界自然遺産に登録された知床があります。 (2018年 千葉県公立入試 類似)			
	1. 道庁所在地は釧路市であり、水産業の拠点となっている。	2. 道庁所在地は札幌市であり、都道府県名と都市名が異なる例である。	3. 道庁所在地は函館市であり、本州との交通の要所となっている。	4. 道庁所在地は旭川市であり、上川盆地の中心都市である。
問11	北海道の気候を地域ごとに比較したとき、日本海側の地域と比較した「内陸部」の特徴として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 富山県公立入試 類似)			
	1. 夏に太平洋側から吹き込む冷たく湿った気流の影響で、日本海側よりも夏に晴天の日が少ない。	2. 梅雨の時期に湿った空気の影響を強く受けるため、日本海側よりも6月の降水量が多い。	3. 冬の北西の季節風が山地で遮られるため、日本海側よりも冬の降水（降雪）量が少ない。	4. 暖流の影響を直接受けるため、日本海側の沿岸部よりも冬の気温が高い。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 冬になるとシベリア沿岸から凍結した海水が運ばれ、海岸を埋め尽くすことがある。	オホーツク海沿岸の最大の特徴は、冬に見られる流氷です。これはアムール川からの淡水流入などで塩分濃度が低くなった海域で氷が形成され、それが南下してくることで起こります。他の選択肢については、夏の濃霧は太平洋側、火山灰土壌（シラスや黒土）による大規模農業は十勝平野など、日本海側の豪雪は季節風と対馬海流の影響によるものであり、地域ごとの気候区分を正しく理解しておくことが重要です。
問2	答え 4 生産技術の向上や寒さに強い品種改良が進み、土地あたりの生産性が高まったため。	北海道の稲作は、かつては寒冷地ゆえの不作に悩まされてきましたが、農業機械の導入などの生産技術の進歩や、「ゆめぴりか」や「ななつぼし」といった耐冷性に優れた品種改良の努力により、単位面積あたりの収穫量（土地生産性）を向上させてきました。米の消費量減少に伴う減反政策などで作付面積や総収穫量自体は減っていますが、技術革新によって効率的な生産が可能になっています。
問3	答え 2 国後島	国後島は、北海道の知床半島の東側に位置する島です。択捉島、色丹島、歯舞群島と合わせて北方領土と呼ばれます。北方領土の中で択捉島に次いで2番目に大きな面積を持ち、根室半島の先に位置する歯舞群島や色丹島などとともに、一度も外国の領土になったことがない日本固有の領土ですが、第二次世界大戦の終結直後に当時のソ連によって占拠されました。
問4	答え 3 冬の寒さが極めて厳しく、夏は冷涼で、年間を通して降水量が少ない。	北海道の内陸部は、海から遠く離れているために海による気温調節機能が働かず、放射冷却現象などの影響で冬の気温が極端に低くなります。また、周囲を山々に囲まれていることから、海からの湿った空気が入り込みにくく、日本海側などの沿岸部と比較しても年間降水量が少なくなるのが特徴です。
問5	答え 4 飲用牛乳は加工品に比べて製品の鮮度を保つことが重視されるため、大消費地に近接した地域で生産されている。	生乳の生産と流通には、製品の性質に応じた明確な特徴がある。牛乳（飲用）は液体であり、品質を維持するために鮮度が極めて重要視される。そのため、輸送時間を短縮できる大消費地の近郊で生産・処理される傾向が強い。一方、バターやチーズなどの原料となる加工用生乳は、広大な土地を持つ北海道が生産の約9割を占めている。加工品は飲用牛乳に比べて保存性が高く、遠方からの輸送にも適しているため、土地条件の有利な北海道での大規模生産が可能となっている。
問6	答え 1 道内人口に占める札幌市の割合が一貫して上昇し、札幌市への一極集中が進んでいる。	北海道全体の人口が緩やかな伸び、あるいは横ばい傾向にあるのに対し、札幌市の人口は1960年から2010年の間に約3倍以上という極めて高い伸び率を記録しています。この結果、北海道の総人口に対する札幌市の人口が占める割合は上昇し続けており、特定の都市に人口や経済機能が集中する「一極集中」という地理的特徴が顕著になっています。
問7	答え 1 南東からの湿った季節風が、寒流である千島海流（親潮）の上を通る際に冷やされるため。	日本の夏には、太平洋高気圧から南東の季節風が吹き込みます。この季節風は海からの湿気を多く含んでいますが、北海道東部の沖合を流れる寒流（千島海流／親潮）によって下層から急激に冷やされます。冷やされた空気中の水蒸気が細かい水滴となることで濃霧が発生し、沿岸部に流れ込むため、釧路などの地域では日照時間が減少します。
問8	答え 4 広大な土地で農業が行われているため、第1次産業の割合が全国平均に比べて高い。	北海道は、十勝平野での畑作や根釧台地での酪農など、広大な土地を生かした農業が基幹産業の一つとなっており、第1次産業の就業者割合が約6%と全国平均よりも高い水準にある。一方で、就業者数の構成比としては、サービス業などの第3次産業が約76%と大半を占めており、第2次産業が中心というわけではない。
問9	答え 1 日本固有の領土であるが、第二次世界大戦終結直後から現在までロシアによって法的根拠なく占拠されている。	1855年の日露和親条約において、国後島を含む北方四島は日本の領土として確認されました。それ以降、一度も外国の領土となったことがない「日本固有の領土」ですが、1945年の終戦直後に当時のソ連（現在のロシア）によって占拠されました。日本政府は、サンフランシスコ平和条約で放棄した「千島列島」には北方四島は含まれないという立場をとっており、ロシアに対して一括返還を求めています。
問10	答え 2 道庁所在地は札幌市であり、都道府県名と都市名が異なる例である。	北海道の行政の中心である道庁は札幌市に置かれています。札幌市は、碁盤の目のように区画された市街地を持つ政令指定都市です。北海道内には、知床という世界自然遺産が存在するほか、青森・秋田両県にまたがる白神山地や鹿児島県の屋久島など、日本の自然遺産が所在する自治体は、その場所や名称が中学地理において重要な学習事項となります。
問11	答え 3 冬の北西の季節風が山地で遮られるため、日本海側よりも冬の降水（降雪）量が少ない。	北海道の日本海側は冬の季節風の影響で雪が多くなりますが、内陸部は山地によってその湿った空気が遮られるため、雪や雨の量が抑えられます。一方で、内陸部は地表の熱が逃げやすい盆地構造を持つ場所が多く、冬の寒冷な気候は沿岸部よりもいっそう厳しくなるという対照的な特徴を持っています。

- 問1 北海道の農業は、農業従事者一人あたりの耕地面積が非常に広いことが特徴です。このような土地条件のもとで行われている農業のあり方について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 寒冷な気候による被害を防ぐため、耕地面積を小さく抑え、小規模で多品目な栽培を行っている。 | 2. 土地の生産性を高めるために、多くの労働力を投入する労働集約的な稲作が広く行われている。 | 3. 限られた土地から高い収益を得るため、ビニールハウスなどを活用した施設園芸農業が中心となっている。 | 4. 広大な農地を効率的に管理するため、大型機械を活用した大規模な機械化農業が展開されている。 |
|---|--|---|---|
- 問2 北海道地方の気候の特色について、6月から7月にかけての状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2021年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 停滞前線が長期間にわたって停滞するため、年間で最も降水量が多い時期となる。 | 2. 北東から吹く冷たい風（ヤマセ）の影響で、この時期だけ急激に降水量が増加する。 | 3. 梅雨の影響をほとんど受けないため、本州以南で見られるような長期間の雨期がはっきりしない。 | 4. 南東から吹き込む湿った季節風の影響により、本州よりも早く本格的な雨期が訪れる。 |
|--|---|---|--|
- 問3 北海道の東部に位置する根釧台地などの寒冷な地域において、乳牛を飼育して生乳や乳製品を生産する農業を何といいますか。牧草などの飼料生産と組み合わせられていることが特徴です。 (2018年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------|---------|-------|
| 1. 果樹農業 | 2. 酪農 | 3. 促成栽培 | 4. 放牧 |
|---------|-------|---------|-------|
- 問4 日本の国内における旅客輸送の状況について、東京都から北海道への移動を事例として説明した文として、適切なものはどれか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 青函トンネルの開通以降、鉄道による輸送コストが大幅に低下したため、航空機から鉄道への利用転換が完全に完了している。 | 2. フェリーを利用した海上輸送が旅客輸送の中心であり、航空機や鉄道は補完的な手段として位置づけられている。 | 3. 長距離の移動となるため、速達性に優れた航空機の利用が主流となっているが、新幹線の延伸などにより鉄道も重要な役割を担っている。 | 4. 環境負荷を低減する目的から、二酸化炭素排出量の多い航空機の利用が制限されており、鉄道が唯一の公共交通機関となっている。 |
|--|--|---|--|
- 問5 北海道の中央南部に位置し、石狩低地帯の東側から南の襟裳岬方面へと南北に連なる険しい山脈の名称として、最も適切なものを選びなさい。 (2024年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 飛騨山脈 | 2. 奥羽山脈 | 3. 日高山脈 | 4. 赤石山脈 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問6 北海道の北東側に位置するオホーツク海から、冬に沿岸へ押し寄せ、解ける際に多くの栄養分を海に供給する氷の塊を何というか。 (2025年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|-------|-------|
| 1. 親潮 | 2. 季節風 | 3. 流氷 | 4. 寒流 |
|-------|--------|-------|-------|
- 問7 北海道の気候的特色を活かした産業と、それに伴う人口の動きについて述べた文として、正しいものを選んでください。 (2024年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 梅雨の影響を強く受ける夏の気候を利用した稲作が盛んであり、その収穫期である秋にのみ外国人人口が急増する。 | 2. 年間を通して温暖で湿潤な気候であるため、特定の時期に労働者が増減することなく、外国人人口は常に一定である。 | 3. 冬の降雪と夏の涼しい気候が観光資源となり、季節によって外国人人口の割合が大きく変動する要因となっている。 | 4. 冬の降雪が少ないため、一年中安定して工場を稼働させることができ、工業に従事する外国人人口が年間を通して安定している。 |
|---|--|---|---|
- 問8 北海道の人口分布の変遷について述べた次の文のうち、1950年代後半から現在にかけての状況を正しく説明しているものはどれですか。統計上、札幌市の人口は1958年の約48万人から、2018年には約195万人へと、60年間で約4倍に増加しています。 (2021年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 道内各都市でバランスよく開発が進んだため、札幌市以外の旭川市や函館市でも、札幌市と同等のペースで人口が増加し続けている。 | 2. 1970年代以降、札幌市ではドーナツ化現象による人口減少が激しくなり、現在は1950年代当時の人口規模を下回っている。 | 3. 札幌市の人口は増加したものの、北海道全体の人口増加率がそれを上回っているため、道内における札幌市の人口シェアは低下傾向にある。 | 4. 札幌市への一極集中が進み、道内の他の地域から人口が流入することで、北海道全体の人口に占める札幌市の割合が大幅に上昇した。 |
|---|--|--|---|
- 問9 北海道の石狩平野では、かつて稲作に適さない水分を多く含んだ泥炭地が広がっていました。この土地を農地に変えるために、他の場所から性質の異なる土を運び入れ、もとの土と混ぜ合わせて土壌を改良する方法が行われました。この技術の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2024年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 輪作 | 2. 干拓 | 3. 開拓 | 4. 客土 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問10 2001年から2018年にかけての北海道の酪農に関する統計では、飼育戸数が9640戸から6140戸へと大幅に減少する一方で、生乳生産量は3640.7千から3965.2千へと増加しています。また、100頭以上の牛を飼育する戸数や搾乳ロボットの導入数も大きく伸びています。このような北海道の酪農で見られる変化の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 飼育戸数の減少に比例して全体の生産量も減少し、酪農から畑作への転換が進んでいる。 | 2. 乳製品の需要低下に合わせ、手作業を中心とした小規模な家族経営への転換が進んでいる。 | 3. 労働力不足を補うために、経営規模の拡大や搾乳ロボットの導入による機械化が進んでいる。 | 4. 環境保護の観点から機械の使用を制限し、1戸あたりの飼育頭数を減らす取り組みが進んでいる。 |
|---|--|---|---|
- 問11 北海道のある都市の気候統計において、年平均気温が約8.9度、年降水量が約1106.5mmであり、特に12月や1月の降水量が比較的多いというデータが見られました。この都市が位置する場所として最も適切な条件はどれですか。 (2018年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------|---------------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 1. 北海道の中央部に位置し、海から離れた盆地状の地域 | 2. 北海道の東側に位置し、親潮（寒流）の影響を強く受ける地域 | 3. オホーツク海に面し、冬には流氷が押し寄せる地域 | 4. 北海道の西側に位置し、日本海の影響を受ける地域 |
|-----------------------------|---------------------------------|----------------------------|----------------------------|
- 問12 北海道の根釧台地など、夏の気温が低く稲作に適さない地域で見られる、広大な土地を利用して乳牛を飼育し、生乳やバターなどを生産する農業形態を何といいますか。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-----------|---------|---------|
| 1. 酪農 | 2. 稲作単一経営 | 3. 施設園芸 | 4. 果樹栽培 |
|-------|-----------|---------|---------|
- 問13 北海道の産業別就業者数に関する特徴として、最も適切な記述はどれか。 (2025年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|-------------------------------------|
| 1. 大消費地である東京に近いため、近郊農業による第1次産業の割合が全国で最も高い。 | 2. 第1次産業から第3次産業まで、それぞれの就業者割合がほぼ均等になっている。 | 3. 広大な土地で農業が行われているため、第1次産業の割合が全国平均に比べて高い。 | 4. 大規模な工業団地が多く、第2次産業の割合が全産業の中で最も高い。 |
|--|--|---|-------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 広大な農地を効率的に管理するため、大型機械を活用した大規模な機械化農業が展開されている。	北海道の農業は、一人あたりの耕地面積が広いことから、人力による作業ではなく機械の力を借りる必要があります。そのため、大型トラクターなどの導入が進んでおり、他地域に見られる労働集約的な農業や施設園芸農業とは異なり、広大な土地を少人数で管理する大規模な機械化農業が確立されています。
問2	答え 3 梅雨の影響をほとんど受けないため、本州以南で見られるような長期間の雨期がはっきりしない。	北海道は地理的に緯度が高く、本州以南に長雨をもたらす梅雨前線（停滞前線）が北上してくる頃には勢力が弱まったり、消滅したりすることが多いため、明確な「梅雨」が存在しません。これは北海道の大きな気候の特色の一つであり、この時期の降水量が本州に比べて少ないことは、観光や農業における利点となることもあります。
問3	答え 2 酪農	乳牛を飼育して牛乳やバター、チーズなどの原料となる生乳を生産する農業を酪農と呼びます。北海道の根釧台地は、夏に気温が上がりにくく霧が発生しやすい寒冷な気候であるため、稲作などには向きませんが、牧草の生育に適していることから、自給的な飼料生産を伴う大規模な酪農が発達しました。
問4	答え 3 長距離の移動となるため、速達性に優れた航空機の利用が主流となっているが、新幹線の延伸などにより鉄道も重要な役割を担っている。	日本の長距離旅客輸送では、目的地までの所要時間を短縮できる航空機が大きなシェアを占めています。特に東京から北海道への移動では航空機の利用が圧倒的ですが、北海道新幹線の開業など鉄道網の整備も進められており、天候の影響を受けにくい安定した輸送手段として鉄道も並行して機能しています。他の選択肢にあるような「鉄道への完全な転換」や「航空機の利用制限」といった事実は現在の日本にはありません。
問5	答え 3 日高山脈	北海道の南部に位置するこの山脈は、その険しさから地域の交通や気候を分ける地理的境界線として機能しています。選択肢にある飛騨山脈や赤石山脈は中部地方（日本アルプス）に位置し、奥羽山脈は東北地方の中央を南北に走る山脈であるため、北海道の地形としては日高山脈が正解となります。
問6	答え 3 流氷	冬にシベリア方面からオホーツク海を南下してくる氷の塊であり、北海道の沿岸に接岸する現象である。アムール川などからの豊富な栄養分を含んでおり、豊かな生態系を支える要因となっている。親潮（千島海流）は寒流の一種であり、海流そのものを指すため、氷の塊である流氷とは異なる。
問7	答え 3 冬の降雪と夏の涼しい気候が観光資源となり、季節によって外国人人口の割合が大きく変動する要因となっている。	北海道は梅雨の影響をほとんど受けず、夏は涼しく冬は雪が多いという気候の特色があります。この特色を活かした観光業や農業が発展しており、特に占冠村やニセコ町のような国際的なリゾート地では、冬のスキーシーズンや夏の避暑シーズンに外国人労働者が増加します。このように、その土地の自然環境や気候が、産業構造や地域住民の構成に大きな影響を与えています。
問8	答え 4 札幌市への一極集中が進み、道内の他の地域から人口が流入することで、北海道全体の人口に占める札幌市の割合が大幅に上昇した。	北海道では、県庁所在地である札幌市に行政・経済・文化の諸機能が集中する「一極集中」の傾向が顕著です。1950年代後半以降、石炭産業の衰退などによって道内他地域の人口が減少する一方で、サービス業や商業が集積する札幌市には仕事や利便性を求めて人々が集まりました。この結果、北海道全体の人口が減少に転じてからも、札幌市およびその周辺都市圏の人口が占める割合は高まり続けています。
問9	答え 4 客土	石狩平野などの低湿地には、枯れた植物が腐敗せずに堆積した「泥炭地」が多く分布しており、そのままでは水はけが悪く養分も乏しいため、稲作には向きませんでした。そこで、別の場所から肥沃な土や砂を運んでくる「客土（きゃくど）」という技術が大規模に行われました。これにより土壌の質が向上し、現在のような大規模な稲作地帯へと発展した歴史があります。選択肢にある「干拓」は海や湖を陸地にすること、「輪作」は同じ土地で異なる種類の作物を交互に栽培することを指します。
問10	答え 3 労働力不足を補うために、経営規模の拡大や搾乳ロボットの導入による機械化が進んでいる。	北海道の酪農では、従事者の高齢化や後継者不足を背景に飼育戸数自体は減少していますが、1戸あたりの飼育頭数を増やす「経営規模の拡大」や、搾乳ロボットなどの最新設備を導入する「機械化」を進めることで、少ない人数でも効率的に生産できる体制が整えられています。その結果、戸数が減っても全体の生乳生産量は維持・増加する傾向にあります。
問11	答え 4 北海道の西側に位置し、日本海の影響を受ける地域	北海道の日本海側に位置する都市（札幌など）は、対馬海流（暖流）の影響を受けるため、冬に北西の季節風によってもたらされる雪の影響で、12月や1月の降水量が多くなります。年平均気温が9度前後、降水量が1100mm程度という数値は、北海道の中でも比較的温暖で、冬の降雪が顕著な西岸地域の典型的な特徴を示しています。
問12	答え 1 酪農	北海道東部の根釧台地では、夏でも気温が上がりにくい冷涼な気候を活かして、広大な土地で乳牛を育てる酪農が盛んに行われています。ここでは、大型機械を導入した大規模経営が行われており、日本全体の生乳生産において極めて重要な役割を果たしています。
問13	答え 3 広大な土地で農業が行われているため、第1次産業の割合が全国平均に比べて高い。	北海道は、十勝平野での畑作や根釧台地での酪農など、広大な土地を生かした農業が基幹産業の一つとなっており、第1次産業の就業者割合が約6%と全国平均よりも高い水準にある。一方で、就業者数の構成比としては、サービス業などの第3次産業が約76%と大半を占めており、第2次産業が中心というわけではない。